

## 2017年度以降入学者用

(学生証番号の先頭2桁が「17」「18」「19」「20」の学生用)

# キャリアデザイン学部 2017年度以降入学者 カリキュラム

**重要!** 卒業要件や履修科目は、入学年度によって異なります。  
必ず自分が該当するページを見てください。

★カリキュラム以外にも、「キャリアデザイン学部生共通項目」や、「市ヶ谷共通項目」のページがありますので、併せて確認してください。

# 卒業するためには

卒業して学士（キャリアデザイン学）の学位を得るためには、在学年限内にILAC（アイラック）科目と専門科目について下記の単位規定をすべて満たさなければなりません。

## 卒業所要単位（2017年度以降入学者用）

科目系列				必要単位数					
I L A C  ( アイ ラ ッ ク ) 科 目	1 0 0 番 台	基 盤 科 目	0群	必修	2単位 (基礎ゼミ)	16単位 以上	24単位 以上		
				選択					
			1群	選択 必修	4単位以上				
			2群	選択 必修	4単位以上				
			3群	選択 必修	4単位以上				
			5群	必修	2単位 (スポーツ総合演習)				
		4群	英語	必修	4単位以上	8単位 以上			
			諸外国語*5	必修	4単位以上				
		2 0 0 番 台	リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	0群	選択			6単位 以上	6単位 以上
				1群	選択 必修	2単位以上			
	2群			選択 必修	2単位以上				
	3群			選択 必修	2単位以上				
	4群			選択					
	5群			選択					
4群	英語 諸外国語 共通*6	選択							
専 門 科 目	学 部 専 門 科 目	基 幹 科 目	必修 (キャリアデザイン学入門) (キャリア研究調査法入門)	4単位	20単位以上	72単位 以上			
			選択必修 (キャリア研究調査法)	2単位以上					
			選択必修 (入門系科目)	6単位以上*1					
			選 択						
	展 開 科 目		52単位以上 (*1で選択した領域から、36単位以上含む) (体験型選択必修科目4単位(1ペア)以上含む)						
	演 習 科 目*2								
	関 連 科 目								
	自 由 科 目 *3	他学部公開科目							
		ERP科目*4							
		ESOP科目*4							
グローバル・オープン科目									
インターン・ボランティア*4									
短期語学研修*4									

- \*1 基幹科目の入門系科目のうち、「発達・教育キャリア」「ビジネスキャリア」「ライフキャリア」から1つの領域を選択し、その選択した領域で6単位を修得しなければなりません。
- \*2 基幹科目（入門系科目）および展開科目で選択した領域と同じ領域を選択しなければなりません。
- \*3 自由科目は卒業所要単位として16単位まで修得可能です。
- \*4 グローバル教育センター設置科目です。必要手続きを経て単位認定を行います。
- \*5 留学生は、日本語を履修する。
- \*6 留学生は、英語（のみ）を履修する。

- 注意**
1. 学部専門科目は、基幹科目、展開科目、演習科目、関連科目に大別され、科目群によっては必修科目や選択必修科目があります。必修科目はすべて単位を修得しないと卒業の要件を満たしません。選択必修科目とは、予め指定された科目群の中から所定の単位数以上の修得が条件とされている科目のことです。
  2. ILAC科目と学部専門科目のそれぞれ最低必要単位数を合計すると108単位(=36+72)になります。

卒業所要総単位数との差24単位（=132-108）については、I L A C科目、専門科目（学部専門科目および自由科目）のいずれから修得しても構いません。

3. 休学者の進級および卒業については別掲「市ヶ谷共通項目」の「学籍」のページを確認してください。
4. 3年次終了までに卒業所要単位を修得していても、4年次に4単位以上を修得しなければ卒業することはできません。（進級に関する規程参照）
5. 必要単位数欄が空欄になっている系列の科目は、仮に単位の修得がなくても他の系列の科目によって右側に示されている必要単位数を修得していれば卒業の要件を満たせることを表しています。

(※) 前ページの「卒業所要単位」の表は各「科目系列」ごとに科目を履修し合計して何単位取得すると卒業要件を満たすかを示したものです。さらにそれらの科目のうちに4単位分の「**体験型選択必修科目**」を含んで履修し単位を取得することも併せて卒業要件となっています。それらの科目は後述の「体験型選択必修科目」一覧表に示すものですが、春学期・秋学期とも表に示した科目をペアで、かつ「事前指導」や「I」を先に履修し単位を修得した後「実習」や「II」を履修しそれぞれ2単位、合計4単位取得することが卒業要件となります。これらのペア科目は定員を定めています。年度末のガイダンスに出席し、履修希望申請書を必ず提出してください。これらのペア科目は2年次から履修できます。できるだけ他の学部専門科目の履修に影響が少ない2年次に履修することを推奨します。

**「体験型選択必修科目」一覧**

年次	春学期+秋学期 でペアとなる科目		定員 (予定)
	春学期科目名 (各2単位)	秋学期科目名 (各2単位)	
2年～	キャリアサポート事前指導	キャリアサポート実習	20×4クラス
	キャリア体験事前指導	キャリア体験学習	25×4クラス 32×1クラス
	キャリア体験事前指導 (国際)	キャリア体験学習 (国際)	10×2クラス
	多文化教育 I	多文化教育 II	50
	メディアリテラシー実習 I	メディアリテラシー実習 II	16
	地域学習支援 I	地域学習支援 II	35

**進級するためには**

キャリアデザイン学部において進級するためには、各年次2 Semester 在学し、各年次で下記の単位規定を満たさなければなりません。1単位でも不足したり間違いがあったりすると、進級できないので注意してください。

**進級に関する規程（キャリアデザイン学部）**

- 第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに24単位以上修得していなければならない。
- 第2条 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次修了までに次の各号に定める単位を修得しなければならない。ただし、SSI所属学生は第1号のみ適用する。
- (1) 第2年次修了までに48単位以上
  - (2) 基幹科目の必修科目（キャリアデザイン学入門）（キャリア研究調査法入門）
- 第3条 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに次の各号に定める単位を修得しなければならない。
- (1) \*市ヶ谷基礎科目のうち4群及び5群の卒業所要単位
  - (2) 前号の単位を含め88単位以上
- 第4条 4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。但し、法政大学学則第49条第4項に定める場合を除く。
- 第5条 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。

\*進級に関する修得単位数に教職・資格科目（卒業要件外科目）は含みません。  
 ※2017年度以降入学者は、「I L A C科目」として履修します。

## <参考>

法政大学学則第49条

第49条 4ヵ年以上在学し、卒業所要単位を修得した者には、学士の学位を与え学位記を授与する。

- 2 前項の卒業の要件を充たした者の学位記授与は学年末に行う。但し、本人の申請により春学期末に行うことができる。
- 3 前項の規定にかかわらず、秋学期に入学し、第1項の卒業の要件を充たした者の学位記授与は春学期末に行う。但し、本人の申請により秋学期末に行うことができる。
- 4 第1項の規定にかかわらず、3ヵ年以上在学し、卒業所要単位を優秀な成績で修得した者は学士の学位を与え、学位記を授与することができる。
- 5 前項の早期卒業に関する要件は別に定める。
- 6 前5項における卒業の確定日は、学年末は3月24日とし、春学期末は9月15日とする。

(以下、省略)

## 早期卒業について

キャリアデザイン学部早期卒業に関する規程（規定第927号）第2条

第2条 早期卒業を認める学生は、次の各号に定める要件を全て満たしていなければならない。

- (1) 3年次終了時まで卒業所要単位を取得し、かつGPAが3.0以上の者。
- (2) 専門科目および\*市ヶ谷基礎科目の修得科目のうち、それぞれ9割以上がA評価以上であること。
- (3) 3年次にキャリアデザイン学演習を履修、修得していること。\*\*\*
- (4) 卒業論文に準ずる論文や作品等を執筆または制作し、高い評価を得た者。

※2017年度以降入学者は「ILAC」科目として履修します。

\*\*\*2012年度以降入学者は演習（発達・教育）（ビジネス）（ライフ）のいずれか。

早期卒業の手続きスケジュール等

～10月下旬	早期卒業申請受付
12月中旬	卒業論文に準ずる論文・作品提出 *4年生の卒業論文提出期間と同様
2月上旬	早期卒業希望者に対する面接（口頭試問）
3月上旬	面接（口頭試問）の結果通知 *4年生の卒業発表期間と同様
3月24日	条件を満たした場合、卒業

\*詳細は掲示等でお知らせします。

## 履修登録について

履修に際しては、自分が関心を持つテーマに関連した学問分野の科目の単位を、確実にしかも段階を追って修得していく必要があります。ILAC科目の中には、学部の専門科目を学ぶ上で前提になるような基本的内容を取り上げている科目があります。また、学部科目の中にも、科目間の履修順序を守る必要がある科目があります。

「法政大学webシラバス」で各科目の内容説明を読み、自分にとってどの順番でそれぞれの科目を履修していくのが適切であるのかを、考えてください。



法政大学webシラバス

具体的な履修の計画をする前に、キャリアデザイン学部主催の各学年向け履修ガイダンスに必ず出席し説明を受けてください。さらに毎年4月に行われる履修相談会を活用して履修計画を立てることもできます。キャリアデザイン学部独自の制度として、学部生は、「キャリアアドバイザー」と呼ばれる学部専門職員に履修についての相談をすることができます。個別に履修相談がしたい場合は、キャリアアドバイザールーム（富士見坂校舎3階）のキャリアアドバイザーに相談してください。

### 1 登録制度とは

単位を修得するためには、指定の期日までに履修したい科目を登録する、「履修登録」という手続きを確実に行わなければなりません。履修登録は春学期 Semester 開始時に行います。また、秋学期 Semester 開始時に履修科目の追加や変更が可能です。この履修登録はとても重要で、登録を怠った場合は当該 Semester の単位の修得ができず留年となることもあります。登録エラーがあった場合、放置したままにすると登録自体が無効となり単位の修得ができません。

みなさんが履修登録の意思表示をした科目はコンピューター処理され、履修が手引きどおりになされているか判定されます。エラーを完全になくしないと正式な登録となりませんので、必ずこの手引きをよく読み、エラーを出さないよう注意してください。ただし、コンピューター処理をしているといっても、すべて細かい部分まで完全に判定できないこともあります。登録した科目に間違いがないか、履修条件に合っているかは、各自で必ず確認しなければなりません。

学則第22条 学生は、履修しようとする授業科目を毎年所定の期間内に届け出て、承認を得なければならない。  
 学則第39条 新入生で指定された期日までに履修届を提出しない等、その他本学において修学する意志がないと認められる者は教授会の議を経て除籍する。

期限までに登録しない場合、当該 Semester の受験資格が認められず単位の取得ができないばかりか除籍となることもあります。十分注意してください。

## 2 履修登録前の準備（必ず行ってください）

キャリアデザイン学部では、一部の抽選科目を除き、履修登録期間よりも先に授業が始まります。まずは履修したい科目を学習支援システムに仮登録し、授業に臨んでください。学習支援システムには法政ポータルサイト(Hoppii)からアクセスすることができます。学習支援システムに仮登録することで、その授業に関するお知らせや教材の参照、休講や教室変更等の連絡を受け取ることができます。履修したい授業はすべて仮登録することを忘れないでください。

ただし、学習支援システムへの仮登録は履修登録とは異なります。あくまで、履修登録期間に履修登録をしないと単位が修得できませんので注意してください。

## 3 履修登録のしかた

学習支援システムへの登録は、あくまでも仮登録です。法政ポータルサイト（Hoppii）から情報システムにアクセスし、履修登録を行ってください。また、履修登録前には必ず「Web履修ガイド」（学部Web掲示板に記載）を読んでください。法政ポータルサイト（Hoppii）のURL、QRコードは以下のとおりです。

<https://hoppii.hosei.ac.jp>

履修登録期限については、つぎのことに注意が必要です。

- ・ 掲示された期日までに、必ず自分自身で申請してください。
- ・ 履修登録期間中に病気や不可抗力の事故等のため履修登録ができなかった場合には、診断書等の証明書をつけ、キャリアデザイン学部窓口に出してください。連絡や正当な理由がなく期日に遅れた場合、登録の申請は受けつけません。

履修登録期間後に、日時・時間を勘違いしていた、忘れていた、(締切間際にログインして) PC・システム等の操作方法がわからなかった、あるいはアルバイトがあったからといったような理由での事後登録もしくは登録内容の変更は一切認められません。

**履修登録については、卒業・進級に関係してくる重大な事項ですので、必ず所定期間内に登録内容を確認し、手続きを完了させるようにしてください。**

## 4 履修登録の確認

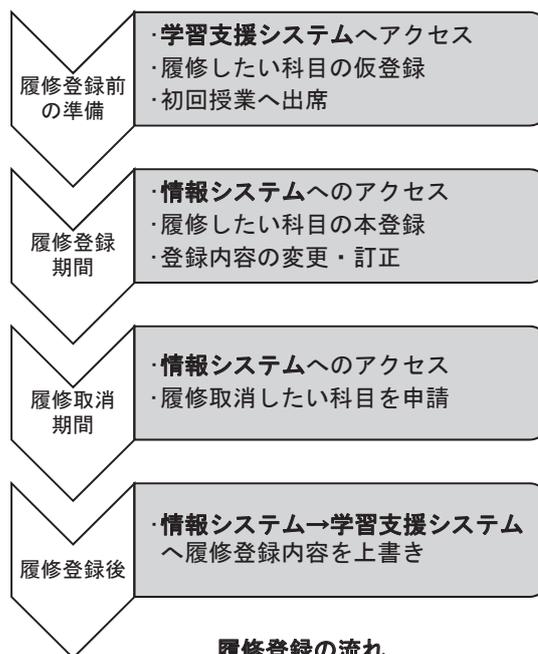
登録した内容を確認するために履修登録科目確認通知書を各自で印刷し、保管してください。履修登録科目確認通知書は、正確に登録されたかを本人が確認する手段となります。履修登録科目の確認を怠ったために、登録ミスに気づかず修得単位ゼロという例も毎年少なからずあります。自己責任が原則です。

## 5 履修登録の訂正

履修登録期間内は何度でも科目を変更することができますが、登録期限後は科目の変更はできません。

登録にミスがあり、登録ができない場合はミスをした部分の訂正をしないと履修登録が完了しません。

また、エラーの修正が遅れると教員へ渡す受講者名簿に名前が載らず出席をとってもらえないなどの不利益が生



法政ポータルサイト（Hoppii）

じる恐れがあります。

## 6 履修取消

登録期間後でも、一定期間内に申し出れば登録を取り消すことができます。登録取消の期間については、学部web掲示板で確認してください。

## 7 登録単位制限と重複登録について

登録できる単位数には、Semester・年次ごとに上限があります。この制限を超えて登録すると、「登録ミス」となり、すべての科目の履修登録が無効となりますので、注意が必要です。

### <注意>

- ・履修登録をしていない科目・曜日・時限の授業へ出席したり、試験を受けたりしても単位の修得はできません。
- ・大学から成績や緊急の連絡等に関する重要書類を郵送することがありますので、転居した際は必ず住所変更の手続きをとってください。
- ・留年および復学・復籍した場合、学生証番号・所属クラスが変更になる場合があります。留年・復学・復籍した当該年次のカリキュラムにもとづいて、登録してください。

## 履修登録が可能な単位数について

履修登録には次のようなルールがあります。

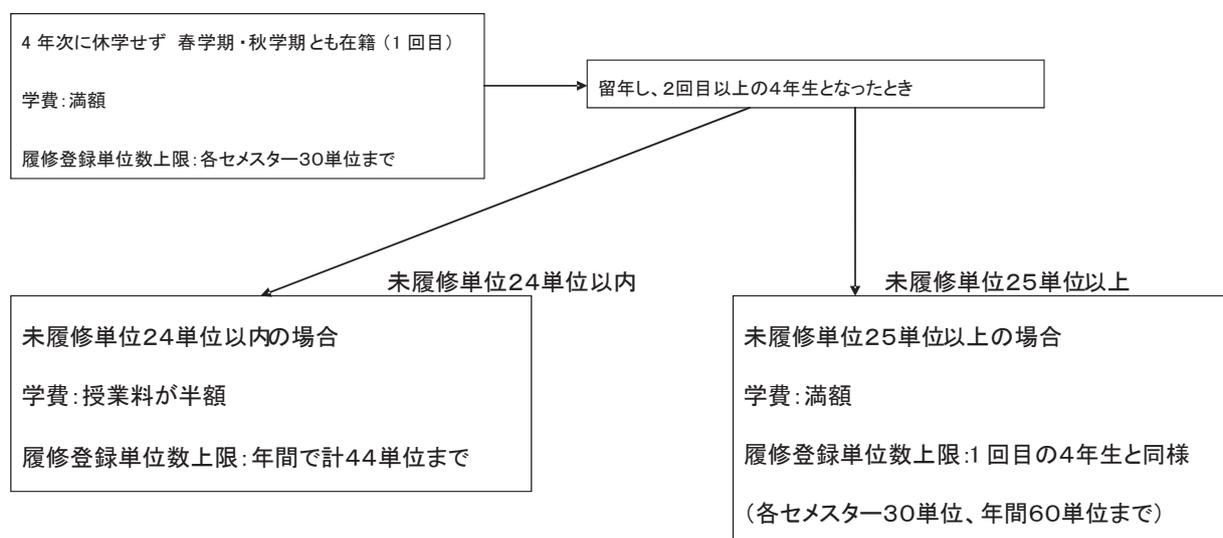
履修登録を怠ったり履修エラーを未修正で放置したりすると授業・試験を受けても単位は修得できませんので、注意してください。

### 2017年度以降入学者

4年次においてセメスターを2期在籍した学生で、留年して2回目以降4年生になった場合に履修登録できる単位数

- (1) 未履修単位24単位以内の場合：年間で計44単位まで
- (2) 未履修単位25単位以上の場合：各セメスターおよび年間の履修制限単位数まで

4年次においてセメスターを2期在籍した学生で、留年して2回目以降の4年生になった場合の学費および履修できる単位は、次のとおりです。



### 1 セメスター・年間の登録上限単位

各セメスターに履修登録できる単位数には上限があります。単位は週あたりの学習時間によって決められています。それゆえ、一定の期間に無制限に単位修得できるわけではありません。

キャリアデザイン学部では、各セメスターおよび年間（2つのセメスター）での履修登録において、科目の系列ごとに登録単位の上限を設けています。

### 2 単位数上限について

#### ① I L A C科目と専門科目

合計で、半期30単位・年間48単位を上限として、履修登録することができます。

#### ②教職・資格科目を履修する場合

教職・資格科目のうち、教職資格課程表や資格課程開設科目表（それぞれ教職課程履修要綱や資格関係科目履修要綱に掲載）上で、科目名に■が付いている科目は卒業所要単位とはなりません。

それらを履修する場合、上記①と合わせて半期30単位・年間60単位を上限として履修登録できます。

### 3 クラス指定・定員のある科目について

以下の科目は、原則としてクラス指定もしくは定員制が設けられているので、必ずしも希望通りの時間に履修できるとは限りません。

- (1) I L A C科目 4群の必修外国語は、指定されたクラスで受講してください。
- (2) I L A C科目 4群の選択外国語は、各授業とも受講者数に制限があります。
- (3) I L A C科目 5群の科目は、通常授業のクラス指定か集中授業のいずれかになります。
- (4) I L A C科目 3群のサイエンス・ラボA/Bは、受講者数に制限があります。
- (5) I L A C科目のうち、履修者が大人数となる授業については抽選があります。詳細については学部- (20) ページからの案内を読んでください。
- (6) 入門系の授業の受講は、クラス指定されている場合があります。
- (7) 国際コミュニケーション語学は、各授業とも受講者数に制限があります。
- (8) 情報実習室を使用する授業は、受講者数に制限があります。
- (9) 体験型選択必修科目は受講者数に制限があります。
- (10) 上記以外にも受講制限を行う場合があります。選抜方法の詳細についてはweb掲示板や講義概要(シラバス)を参照してください。

# キャリアデザイン学部 カリキュラム構成図(2017年度以降入学者用)

## ILAC(アイラック)科目

学部-(11)以降のILAC(アイラック)科目カリキュラム表を参照してください。

## 基幹科目

キャリアデザイン学入門	発達・教育キャリア入門C(生涯学習入門Ⅰ)	労働法	ライフコース論
キャリア研究調査法入門	発達・教育キャリア入門D(生涯学習入門Ⅱ)	ファシリテーション論	生活設計論Ⅰ(社会保障)
キャリア研究調査法(質的調査)(量的調査)	ビジネスキャリア入門A～D	若者の自立支援	生活設計論Ⅱ(生活設計)
発達・教育キャリア入門A・B	ライフキャリア入門A～D	職業選択論Ⅰ	キャリアモデル・ケーススタディ

## 展開科目

展開 体験 科目	キャリアサポート事前指導	キャリア体験事前指導	メディアリテラシー実習Ⅰ・Ⅱ
	キャリアサポート実習	キャリア体験学習	地域学習支援Ⅰ・Ⅱ
	多文化教育Ⅰ・Ⅱ	キャリア体験事前指導(国際)	
	キャリア体験学習(国際)		
	<b>発達・教育キャリア</b>	<b>ビジネスキャリア</b>	<b>ライフキャリア</b>
	キャリア研究調査実習A キャリア研究調査実習B 外書講読A(発達・教育) 外書講読B(発達・教育) 生涯発達心理学Ⅰ・Ⅱ 臨床教育相談論Ⅰ・Ⅱ キャリアカウンセリングⅠ・Ⅱ キャリアカウンセリングⅢ(ケーススタディ) 教育相談 教育心理学	キャリア研究調査実習C キャリア研究調査実習D 外書講読A(ビジネス) 外書講読B(ビジネス) 職業選択論Ⅱ 人材育成論Ⅰ・Ⅱ 産業・組織心理学Ⅰ・Ⅱ キャリア開発論 リーダーシップ論 経営統計論A(心理データ)	キャリア研究調査実習E キャリア研究調査実習F 外書講読A(ライフ) 外書講読B(ライフ) コミュニティ社会論Ⅰ・Ⅱ 家族論 若者文化論 世代間交流論 身体表現論 地域文化論 アイデンティティ論 余暇集団論
	学校論Ⅰ(キャリア形成) 学校論Ⅱ(キャリア形成) 学校論Ⅲ(キャリア教育) 学校論Ⅳ(キャリア教育) 生涯学習論Ⅰ(生涯学習支援論Ⅰ) 生涯学習論Ⅱ(生涯学習支援論Ⅱ) 図書館情報学概論Ⅰ・Ⅱ メディア教育論Ⅰ・Ⅱ 教育マネジメントⅠ・Ⅱ	企業会計論 経営統計論B(企業データ) 経営組織論Ⅰ・Ⅱ 戦略経営論Ⅰ・Ⅱ 経営分析論Ⅰ・Ⅱ アントレプレナーシップ論Ⅰ・Ⅱ	NPO論 公共サービス論 アート・マネジメント論 文化経営論 メディア文化論 文化マーケティング論 ブランド創造論 産業文化論 ミュージアム概論 ミュージアム経営論
	教育政策 現代教育思想 生涯学習論Ⅲ(成人教育論Ⅰ) 生涯学習論Ⅳ(成人教育論Ⅱ) 学習の社会史A・B 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 教育経済学	職業キャリア論 労働経済学 シティズンシップ論 生産システム論 国際経営論 日本経済論 産業論 広告ビジネス論 マーケティング論 流通・マーケティング戦略論 流通・サービスビジネス論 就業機会発見実務	多文化社会論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ アジア社会論Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 国際地域研究Ⅰ・Ⅱ
総合	就業機会とキャリア 職業能力ベーシックスキルⅠ・Ⅱ		

## 演習科目

演習(発達・教育、ビジネス、ライフ)	卒業論文(発達・教育、ビジネス、ライフ)	キャリアデザイン学総合演習
--------------------	----------------------	---------------

## 関連科目

国際コミュニケーション語学(英語Ⅰ～Ⅴ)	税務会計論Ⅰ・Ⅱ	社会貢献・課題解決教育	図書館サービス概論	ミュージアム教育論
スタディ・アブロードⅠ～Ⅳ	管理会計論Ⅰ・Ⅱ	教職入門	情報サービス演習	社会教育演習
就業機会とキャリア特講	原価計算論Ⅰ・Ⅱ	教育原理	図書館情報資源概論	現代生活・文化と社会教育Ⅰ・Ⅱ
地域活性化論	経営分析Ⅰ・Ⅱ	教育の制度・経営	図書館情報資源特論	
就業応用力養成Ⅰ・Ⅱ	異文化適応論	教育課程論	読書と豊かな人間性	
財務会計論Ⅰ・Ⅱ	市民社会と政治	教育方法論	情報メディアの活用	
監査論Ⅰ・Ⅱ	労働環境法	図書館演習	ミュージアム資料論	

## 自由科目

他学部公開科目	ESOP科目	ERP科目	グローバル・オープン科目	インターン・ボランティア	短期語学研修
---------	--------	-------	--------------	--------------	--------

# ILAC (アイラック) 科目カリキュラム表 ★2017年度以降入学者用★

群	科目配置	必修選択	科目ナンバリング	授 業 科 目	単 位	年 次	備 考	
0群	基盤	必修	BSP100LA	基礎ゼミ	2	1		
		選択	BSP100LA	リベラルアーツ特別講座	2	1~4	2020年度新規開講	
			SOW100LA等	課題解決型フィールドワーク	1または2	1~4	2019年度新規開講	
			PRI100LA	情報処理演習	2	1~4	2020年度より春学期のみ開講	
			CAR100LA	キャリアデザイン入門	2	1		
			CAR100LA	キャリアデザイン応用	2	1~4	(注1)参照	
	IDN100LA	大学を知らう <法政学>への招待	2	1~4	(注2)参照			
	リベラル	選択	IDN200LA	法政学の探究LA	2	1~4		
IDN200LA	法政学の探究LB	2	1~4					
1群	基盤	選択必修	LIT100LA	日本古典文学A/B	各2	1~4		
			LIT100LA	日本近・現代文学A/B	各2	1~4		
			LIT100LA	日本文学A/B	各2	1~4		
			LIT100LA	外国文学A/B	各2	1~4		
			BSP100LA	文章論	2	1~4	定員制	
			LNG100LA	言語学A/B	各2	1~4	定員制	
			PHL100LA	哲学 I / II	各2	1~4		
			PHL100LA	倫理学 I / II	各2	1~4		
			PHL100LA	論理学 I / II	各2	1~4		
			HIS100LA	東洋史 I / II	各2	1~4		
			HIS100LA	西洋史 I / II	各2	1~4		
			HIS100LA	日本史 I / II	各2	1~4		
			PHL100LA	宗教論 I / II	各2	1~4		
			ART100LA	芸術A/B	各2	1~4		
	リベラル	選択必修	LIT200LA	日本文学と文化LA/LB	各2	1~4		
	LIT200LA	日本文学と文化LC/LD	各2	1~4				
	LIT200LA	日本文学と文化LE/LF	各2	1~4				
	LIT200LA	日本文学と文化LG/LH	各2	1~4				
	LIT200LA	外国文学と文化LA/LB	各2	1~4				
	LIT200LA	外国文学と文化LC/LD	各2	1~4	2020年度休講			
	LIT200LA	外国文学と文化LE/LF	各2	1~4				
	LIT200LA	文学と社会LA/LB	各2	1~4	2020年度休講			
	LIT200LA	文学と社会LC/LD	各2	1~4				
	LIT200LA	文学と社会LE/LF	各2	1~4				
	LNG200LA	音声学L	2	1~4	定員制			
	PHL200LA	哲学L I / L II	各2	1~4				
	PHL200LA	倫理学L I / L II	各2	1~4				
	PHL200LA	論理学L I / L II	各2	1~4				
	HIS200LA	東洋史L I / L II	各2	1~4				
	HIS200LA	西洋史LA/LB	各2	1~4				
	HIS200LA	日本史L I / L II	各2	1~4				
	PHL200LA	宗教論L I / L II	各2	1~4				
	2群	基盤	選択必修	LAW100LA	法学 I / II	各2	1~4	
				LAW100LA	法学(日本国憲法)	2	1~4	
ECN100LA				経済学 I / II	各2	1~4		
PSY100LA				心理学 I / II	各2	1~4		
GEO100LA				地理学 I / II	各2	1~4		
POL100LA				政治学 I / II	各2	1~4		
SOC100LA				社会学 I / II	各2	1~4		
CUA100LA				文化人類学	2	1~4		
SOS100LA		社会思想 I / II	各2	1~4				
リベラル		選択必修	ECN200LA	経済学LA/LB	各2	1~4		
PSY200LA		心理学LA/LB	各2	1~4				
GEO200LA		地理学LA/LB	各2	1~4				
GEO200LA		地理学LC/LD	各2	1~4				
POL200LA		政治学LA/LB	各2	1~4				
SOC200LA	社会学LA/LB	各2	2~4					
SOC200LA	社会学LC/LD	各2	1~4					
CUA200LA	文化人類学L	2	1~4					
SOS200LA	社会思想LA/LB	各2	1~4					
3群	基盤	選択必修	MAT100LA	教養数学A/B	各2	1~4		
			MAT100LA	基礎数学 I / II	各2	2~4		
			PHY100LA	入門物理学A/B	各2	1~4		
			BIO100LA	入門生物学A/B	各2	1~4		
			CHM100LA	入門化学A/B	各2	1~4		
			NAS100LA	サイエンス・ラボA/B	各2	1~4	定員制	
			ASR100LA	天文学A/B	各2	1~4		
			SHS100LA	科学史A/B	各2	1~4		
	リベラル	選択必修	MAT200LA	数学特講LA/LB	各2	1~4		
	MAT200LA	発展数学L I / L II	各2	2~4				
	PHY200LA	教養物理学LA/LB	各2	2~4				
	BIO200LA	教養生物学LA/LB	各2	1~4				
	BIO200LA	教養生物学LC/LD	各2	1~4				
	BIO200LA	教養生物学LE/LF	各2	1~4	2020年度休講			
CHM200LA	教養化学LA	2	1~4					
CHM200LA	教養化学LB	2	1~4					

カリキュラム  
2017年度以降入学者用

群	科目配置	必修選択	科目ナンバリング	授 業 科 目	単 位	年 次	備 考	
4群	リベラル	選択	ARSa200LA	ドイツの文化と社会LA/LB	各2	2~4	定員:30名	
			ARSa200LA	ドイツ語の世界LA/LB	各2	1~4	定員:60名	
			ARSa200LA	フランスの文化と社会LA/LB	各2	1~4	定員:30名	
			ARSa200LA	フランス語の世界LA/LB	各2	1~4	定員:40名	
			ARSa200LA	フランス生活文化論LA/LB	各2	1~4	定員:40名	
			ARSa200LA	ロシアの文化と社会LA/LB	各2	2~4	定員制	
			ARSa200LA	ロシア語の世界LA/LB	各2	1~4	定員:60名/2020年度休講	
			ARSe200LA	中国の文化と社会LA、LC/LB、LD	各2	2~4	定員:60名	
			ARSe200LA	中国語の世界LA/LB	各2	1~4	定員:60名	
			ARSe200LA	スペイン語の世界LA/LB	各2	1~4	定員:40名	
			ARSe200LA	朝鮮の文化と社会LA/LB	各2	2~4	定員:30名	
			ARSe200LA	日本の文化と社会LA/LB	各2	2~4	定員:30名	
			ARSe200LA	日本語の世界LA/LB	各2	2~4	定員:30名	
4群	英語	必修	LANe100LA	英語1- I / II	各1	1		
			LANe100LA	英語2- I / II	各1	1		
		選択	LANe200LA	Practical English(オーラル・コミュニケーション)A- I / II	各1	1~4	定員:25名	
			LANe200LA	Practical English(オーラル・コミュニケーション)B- I / II	各1	1~4	定員:25名	
			LANe200LA	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)A- I / II	各1	1~4	定員:25名	
			LANe200LA	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)B- I / II	各1	1~4	定員:25名	
			LANe200LA	Practical English(英語検定試験対策)A- I / II	各1	1~4	定員:25名	
			LANe200LA	Practical English(英語検定試験対策)B- I / II	各1	1~4	定員:25名	
		ドイツ語	必修	LANd100LA	ドイツ語1- I / II	各1	1	
				LANd100LA	ドイツ語2- I / II	各1	1	
			選択	LANd100LA	ドイツ語表現法 I / II	各1	2~4	定員:20名
				LANd100LA	入門ドイツ語(SSI) I / II	各1	1~3	SSI生のみ履修可、定員:30名
				LANd200LA	検定ドイツ語 I / II	各1	2~4	定員:30名
				LANd200LA	ドイツ語コミュニケーション I / II	各1	2~4	定員:20名
	フランス語	必修	LANf100LA	フランス語1- I / II	各1	1		
			LANf100LA	フランス語2- I / II	各1	1		
		選択	LANf200LA	フランス語視聴覚(入門) I / II	各1	1~4	定員:30名/2020年度休講	
			LANf200LA	フランス語視聴覚(初・中級) I / II	各1	2~4	定員:30名	
			LANf200LA	フランス語コミュニケーション(初級) I / II	各1	1~4	定員:30名	
			LANf200LA	時事フランス語 I / II	各1	1~4	定員:30名	
	中国語	必修	LANc100LA	中国語1- I / II	各1	1		
			LANc100LA	中国語2- I / II	各1	1		
		選択	LANc200LA	中国語視聴覚初級 I / II	各1	2~4	定員:35名	
			LANc200LA	中国語作文初級 I / II	各1	2~4	定員:15名	
			LANc200LA	中国語コミュニケーション基礎 I / II	各1	1~4	定員:20名/2020年度休講	
			LANc200LA	中国語コミュニケーション初級 I / II	各1	2~4	定員:20名	
	スペイン語	必修	LANs100LA	スペイン語1- I / II	各1	1		
			LANs100LA	スペイン語2- I / II	各1	1		
選択		LANs200LA	時事スペイン語 I / II	各1	2~4	定員:30名		
		LANs200LA	スペイン語コミュニケーション I / II	各1	3~4	定員:30名		
		朝鮮語	必修	LANK100LA	朝鮮語1- I / II	各1	1	
				LANK100LA	朝鮮語2- I / II	各1	1	
選択	LANK200LA		朝鮮語3C- I / II	各1	2~4	定員:30名		
	LANK200LA		朝鮮語4B- I / II	各1	2~4	定員:30名		
日本語	必修	LANj100LA	日本語1- I / II	各1	1	留学生のみ		
		LANj100LA	日本語2- I / II	各1	1			
5群	基盤	必修	HSS100LA	スポーツ総合演習	2	1		
		選択	HSS100LA	スポーツ総合演習S	2	1~4		
	リベラル	選択	HSS200LA	健康の科学LA/LB	各2	1~4	定員制	

科目配置の「基盤」は基盤科目を、「リベラル」はリベラルアーツ科目を指します。

2017年度をもって、「キャリアデザイン演習」、「就業基礎力養成 I / II」は閉講しました。

(注1)2017年度以前に「就業基礎力養成 I」を修得済みの場合は、「キャリアデザイン応用」を履修できません。

(注2)2019年度より「法政学への招待」は、「大学を知ろう <法政学>への招待」へ科目名称が変更となりました。

2018年度以前に「法政大学への招待」を修得済みの場合は、「大学を知ろう <法政学>への招待」を履修できません。

# ILAC (アイラック) 科目/市ヶ谷基礎科目 新旧科目対応表

※単位数や履修年次は、科目一覧で確認して下さい。

2017年度以降入学生			2014～2016年度入学生		備考	
群	科目配置	必修選択	授業科目	群		授業科目
0群	基盤	必修	基礎ゼミ リベラルアーツ特別講座 課題解決型フィールドワーク	0群	基礎ゼミ リベラルアーツ特別講座 課題解決型フィールドワーク	2020年度新規開講 2019年度新規開講
		選択	情報処理演習 キャリアデザイン入門 キャリアデザイン応用 キャリアデザイン演習 就業基礎力養成 I / II 大学を知らう <法政学>への招待		情報処理演習 キャリアデザイン入門 キャリアデザイン応用 キャリアデザイン演習 就業基礎力養成 I / II 大学を知らう <法政学>への招待	2020年度より春学期のみ開講 2017年度で閉講 2017年度で閉講 2019年度より「法政学への招待」から名称変更
	リベラル	選択	法政学の探究LA ◇ 法政学の探究LB ◇		法政学の探究A 法政学の探究B	
1群	基盤	選択必修	日本古典文学A ◇ 日本古典文学B ◇ 日本近・現代文学A ◇ 日本近・現代文学B ◇ 日本文学A ◇ 日本文学B ◇ 外国文学A ◇ 外国文学B ◇ 文章論 ◇ 言語学A ◇ 言語学B ◇ 哲学 I / II 倫理学 I / II 論理学 I / II 東洋史 I / II 西洋史 I / II 日本史 I / II 宗教論 I / II 芸術A 芸術B	1群	文学 I 文学 II 文学 I 文学 II 文学 I 文学 II 文学 I 文学 II 文章論 I 哲学 I / II 倫理学 I / II 論理学 I / II 東洋史 I / II 西洋史 I / II 日本史 I / II 宗教論 I / II 芸術 I 芸術 II 文学 I 文学 II	
			外国文学と文化LA/LC/LE/LG ◇ 外国文学と文化LB/LD/LF/LH ◇ 外国文学と文化LA/LC/LE ◇ 外国文学と文化LB/LD/LF ◇ 文学と社会LA/LC/LE ◇ 文学と社会LB/LD/LF ◇ 音声学L ◇ 哲学L I / L II ◇ 倫理学L I / L II ◇ 論理学L I / L II ◇ 東洋史L I / L II ◇ 西洋史LA ◇ 西洋史LB ◇ 日本史L I / L II ◇ 宗教論L I / L II ◇		2020年度休講 (外国文学と文化LC) 2020年度休講 (外国文学と文化LD) 2020年度休講 (文学と社会LA) 2020年度休講 (文学と社会LB) ※1	
	リベラル	選択必修	日本文学と文化LA/LC/LE/LG ◇ 日本文学と文化LB/LD/LF/LH ◇ 外国文学と文化LA/LC/LE ◇ 外国文学と文化LB/LD/LF ◇ 文学と社会LA/LC/LE ◇ 文学と社会LB/LD/LF ◇ 音声学L ◇ 哲学L I / L II ◇ 倫理学L I / L II ◇ 論理学L I / L II ◇ 東洋史L I / L II ◇ 西洋史LA ◇ 西洋史LB ◇ 日本史L I / L II ◇ 宗教論L I / L II ◇		文学 I 文学 II 文学 I 文学 II	2020年度休講 (外国文学と文化LC) 2020年度休講 (外国文学と文化LD) 2020年度休講 (文学と社会LA) 2020年度休講 (文学と社会LB) ※1
2群	基盤	選択必修	法学 I / II 法学(日本国憲法) 経済学 I / II 心理学 I / II 地理学 I / II 政治学 I / II 社会学 I / II 文化人類学 ◇ 社会思想 I / II	2群	法学 I / II 法学(日本国憲法) 経済学 I / II 心理学 I / II 地理学 I / II 政治学 I / II 社会学 I / II 文化人類学 I 社会思想 I / II	
			経済学LA ◇ 経済学LB ◇ 心理学LA ◇ 心理学LB ◇ 地理学LA/LC ◇ 地理学LB/LD ◇ 政治学LA ◇ 政治学LB ◇ 社会学LA/LC ◇ 社会学LB/LD ◇ 文化人類学L ◇ 社会思想LA ◇ 社会思想LB ◇		経済学 I 経済学 II 心理学 I 心理学 II 地理学 I 地理学 II 政治学 I 政治学 II 社会学 I 社会学 II 文化人類学 II 社会思想 I 社会思想 II	
	リベラル	選択必修	経済学LA ◇ 経済学LB ◇ 心理学LA ◇ 心理学LB ◇ 地理学LA/LC ◇ 地理学LB/LD ◇ 政治学LA ◇ 政治学LB ◇ 社会学LA/LC ◇ 社会学LB/LD ◇ 文化人類学L ◇ 社会思想LA ◇ 社会思想LB ◇		経済学 I 経済学 II 心理学 I 心理学 II 地理学 I 地理学 II 政治学 I 政治学 II 社会学 I 社会学 II 文化人類学 II 社会思想 I 社会思想 II	
3群	基盤	選択必修	教養数学A 教養数学B 基礎数学 I / II 入門物理学A ◇ 入門物理学B ◇ 入門生物学A ◇ 入門生物学B ◇ 入門化学A ◇ 入門化学B ◇ サイエンス・ラボA サイエンス・ラボB 天文学A 天文学B 科学史A 科学史B	3群	教養数学A 教養数学B 基礎数学 I / II 原子から宇宙までI 原子から宇宙までII 生命科学I 生命科学II 物質と環境I 物質と環境II サイエンス・ラボA サイエンス・ラボB 天文学 I 天文学 II 科学史 I 科学史 II	
			数学特講LA ◇ 数学特講LB ◇ 発展数学 I / L II ◇ 教養物理学LA ◇ 教養物理学LB ◇ 教養生物学LB/LD/LF ◇ 教養生物学LA/LC/LE ◇ 教養化学LA ◇ 教養化学LB ◇		教養数学A 教養数学B 発展数学 I / II 原子から宇宙までI 原子から宇宙までII 生命科学I 生命科学II 物質と環境I 物質と環境II	2020年度休講 (教養生物学LF) 2020年度休講 (教養生物学LE)
	リベラル	選択必修	数学特講LA ◇ 数学特講LB ◇ 発展数学 I / L II ◇ 教養物理学LA ◇ 教養物理学LB ◇ 教養生物学LB/LD/LF ◇ 教養生物学LA/LC/LE ◇ 教養化学LA ◇ 教養化学LB ◇		教養数学A 教養数学B 発展数学 I / II 原子から宇宙までI 原子から宇宙までII 生命科学I 生命科学II 物質と環境I 物質と環境II	2020年度休講 (教養生物学LF) 2020年度休講 (教養生物学LE)

カリキュラム  
2017年度以降入学者用

2017年度以降入学生				2014～2016年度入学生		備考		
群	科目配置	必修選択	授業科目	群	授業科目			
4群	リベラル	選択	ドイツの文化と社会LA ◇	総合科目		※1		
			ドイツの文化と社会LB ◇			※1		
			ドイツ語の世界LA ◇			※1		
			ドイツ語の世界LB ◇			※1		
			フランスの文化と社会LA ◇			※1		
			フランスの文化と社会LB ◇			※1		
			フランス語の世界LA ◇			※1		
			フランス語の世界LB ◇			※1		
			フランス生活文化論LA			※1		
			フランス生活文化論LB			※1		
			ロシアの文化と社会LA ◇			※1		
			ロシアの文化と社会LB ◇			※1		
			ロシア語の世界LA ◇			※1		
			ロシア語の世界LB ◇			※1		
			中国の文化と社会LA/LC ◇			※1		
			中国の文化と社会LB/LD ◇			※1		
			中国語の世界LA ◇			※1		
			中国語の世界LB ◇			※1		
			スペイン語の世界LA ◇			※1		
			スペイン語の世界LB ◇			※1		
			朝鮮の文化と社会LA ◇			※1		
	朝鮮の文化と社会LB ◇		※1					
	日本の文化と社会LA ◇		※1					
	日本の文化と社会LB ◇		※1					
	日本語の世界LA ◇		※3					
	日本語の世界LB ◇							
	英語	必修	英語1- I / II	英語1- I / II	英語1- I / II			
			英語2- I / II	英語2- I / II	英語2- I / II			
		選択	Practical English(オーラル・コミュニケーション)A- I / II	Practical English(オーラル・コミュニケーション)A- I / II	Practical English(オーラル・コミュニケーション)B- I / II	Practical English(オーラル・コミュニケーション)B- I / II		
			Practical English(ビジネス・コミュニケーション)A- I / II	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)A- I / II	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)B- I / II	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)B- I / II		
			Practical English(英語検定試験対策)A- I / II	Practical English(英語検定試験対策)A- I / II	Practical English(英語検定試験対策)B- I / II	Practical English(英語検定試験対策)B- I / II		
			Practical English(英語検定試験対策)B- I / II	Practical English(英語検定試験対策)B- I / II	English for Study Abroad I / II	English for Study Abroad I / II		
			入門英語(SSD) I / II	入門英語(SSD) I / II	ドイツ語1- I / II	ドイツ語1- I / II		
			ドイツ語1- I / II	ドイツ語2- I / II	ドイツ語2- I / II	ドイツ語2- I / II		
			ドイツ語表現法 I / II					
			入門ドイツ語(SSD) I / II ◇	検定ドイツ語 I / II	検定ドイツ語 I / II	検定ドイツ語 I / II		
			検定ドイツ語 I / II	ドイツ語コミュニケーション I / II	ドイツ語コミュニケーション I / II	ドイツ語コミュニケーション I / II		
			ドイツ語視聴覚 I / II					
			時事ドイツ語 I / II					
			フランス語1- I / II	フランス語2- I / II	フランス語1- I / II	フランス語1- I / II		
			フランス語2- I / II	フランス語視聴覚(入門) I / II ◇	フランス語視聴覚 I / II	フランス語視聴覚 I / II		2020年度休講
			フランス語視聴覚(初・中級) I / II ◇	フランス語視聴覚(初・中級) I / II ◇	フランス語視聴覚 III / IV	フランス語視聴覚 III / IV		※2
			スポーツ・フランス語 I / II	スポーツ・フランス語 I / II		※2		
			観光フランス語 I / II	観光フランス語 I / II				
			フランス語コミュニケーション I / II	フランス語コミュニケーション I / II				
			時事フランス語 I / II	時事フランス語 I / II				
			検定フランス語 I / II	検定フランス語 I / II		2020年度休講		
		情報フランス語 I / II	情報フランス語 I / II		2020年度休講			
ロシア語	必修	ロシア語1- I / II	ロシア語1- I / II	ロシア語1- I / II				
		ロシア語2- I / II	ロシア語2- I / II	ロシア語2- I / II				
	選択	中国語1- I / II	中国語1- I / II	中国語1- I / II				
		中国語2- I / II	中国語視聴覚初級 I / II ◇	中国語視聴覚 I / II	中国語視聴覚 I / II			
中国語	必修	中国語作文初級 I / II ◇	中国語作文初級 I / II ◇	中国語表現法 I / II				
		中国語コミュニケーション基礎 I / II ◇	中国語コミュニケーション基礎 I / II ◇	中国語コミュニケーション I / II	中国語コミュニケーション I / II		2020年度休講	
	中国語コミュニケーション初級 I / II ◇	中国語コミュニケーション初級 I / II ◇	中国語コミュニケーション I / II	中国語コミュニケーション I / II				
	資格中国語初級 I / II ◇	資格中国語初級 I / II ◇	検定中国語 I / II	検定中国語 I / II				
スペイン語	必修	スペイン語1- I / II	スペイン語1- I / II	スペイン語1- I / II				
		スペイン語2- I / II	スペイン語2- I / II	スペイン語2- I / II	スペイン語2- I / II			
選択	時事スペイン語 I / II	時事スペイン語 I / II	時事スペイン語 I / II	時事スペイン語 I / II				
	スペイン語コミュニケーション I / II	スペイン語コミュニケーション I / II	スペイン語講読 I / II	スペイン語講読 I / II		※2 2019年度より閉講		
朝鮮語	必修	朝鮮語1- I / II	朝鮮語1- I / II	朝鮮語1- I / II				
		朝鮮語2- I / II	朝鮮語2- I / II	朝鮮語2- I / II	朝鮮語2- I / II			
選択	朝鮮語3C(コミュニケーション) I / II ◇	朝鮮語3C(コミュニケーション) I / II ◇	朝鮮語コミュニケーション I / II	朝鮮語コミュニケーション I / II				
	朝鮮語4B(視聴覚) I / II ◇	朝鮮語4B(視聴覚) I / II ◇	朝鮮語視聴覚 I / II	朝鮮語視聴覚 I / II				
	朝鮮語5A(購読) I / II ◇	朝鮮語5A(購読) I / II ◇	朝鮮語講読 I / II	朝鮮語講読 I / II				
	朝鮮語5B(表現法) I / II ◇	朝鮮語5B(表現法) I / II ◇	朝鮮語表現法 I / II	朝鮮語表現法 I / II				
日本語	必修	日本語1- I / II	日本語1- I / II	日本語1- I / II				
		日本語2- I / II	日本語2- I / II	日本語2- I / II	日本語2- I / II			
選択	日本語コミュニケーション I / II	日本語コミュニケーション I / II	日本語コミュニケーション I / II	日本語コミュニケーション I / II		※2		
5群	基盤	必修	スポーツ総合演習	5群	スポーツ総合演習			
	選択	スポーツ総合演習S ◇	スポーツ総合演習S ◇	0群	スポーツ総合演習	※1		
	リベラル	選択	健康の科学LA ◇					
			健康の科学LB ◇					

※1・・・2017年度以降入学者のみ履修可  
 ※2・・・2016年度以前入学者のみ履修可  
 ※3・・・2016年度以前入学者は、0群科目として履修

◇・・・2017年度以降入学者と2016年度以前入学者で科目名が異なるもの。

**2020年度開講市ヶ谷リベラルアーツセンター主催 グローバル・オープン科目  
単位修得時の認定先について  
※対象学部：法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン学部**

**2020年度に開講される下記のグローバル・オープン科目は、上記の学部に関し、  
ILAC科目(2017年度以降入学生)/市ヶ谷基礎科目(2016年度以前入学生)として認定されます。**

開講学期	科目名		<2017年度以降入学生> 認定先のILAC科目の区分・系列	<2016年度以前入学生> 認定先の市ヶ谷基礎科目の区分・系列
秋	Elementary Information Technology	⇒	100番台・0群選択基盤科目	基礎科目0群(選択)
秋	Elementary Career Development			
春	Humanities B	⇒	200番台・1群リベラルアーツ科目	基礎科目1群
秋	Humanities A			
春	Elementary Social Science A	⇒	100番台・2群基盤科目	基礎科目2群
秋	Elementary Social Science B			
秋	Elementary Humanities A	⇒	100番台・1群基盤科目	基礎科目1群
秋	Elementary Humanities B			
春	Social Science B	⇒	200番台・2群リベラルアーツ科目	基礎科目2群
秋	Social Science A			
春	Natural Science B	⇒	200番台・3群リベラルアーツ科目	基礎科目3群
春	Health and Physical Education	⇒	200番台・5群リベラルアーツ科目	基礎科目5群(選択)
春	Information Technology	⇒	200番台・0群リベラルアーツ科目	基礎科目0群(選択)
春	Career Development Skills			
秋	Elementary Health and Physical Education	⇒	100番台・5群基盤科目(選択)	基礎科目5群(選択)
春	English Academic Writing I ※	⇒	200番台選択外国語科目	基礎科目4群(選択)
秋	English Academic Writing II ※			
春	English Presentation I ※			
秋	English Presentation II ※			
春	English Reading and Vocabulary I			
秋	English Reading and Vocabulary II			
秋	Intercultural Communication A	⇒	<b>200番台・4群リベラルアーツ科目</b> <b>2017年度以前に左記科目を履修した際は</b> <b>「200番台選択外国語科目」として認定されま</b> <b>したが、2018年度以降は「200番台・4群リベラ</b> <b>ルアーツ科目」として認定されます。</b>	基礎科目4群(選択)
秋	Intercultural Communication B			
秋	Intercultural Communication C			
春	Intercultural Communication D			
春	Intercultural Communication F	⇒	200番台選択外国語科目	基礎科目4群(選択)
春	Intercultural Communication H			
秋	Intercultural Communication E			
秋	Intercultural Communication G			
秋	Natural Science A (Human Impact on the Global Environment と同一授業)	⇒	300番台総合科目(履修年次2~4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定	総合科目(履修年次2~4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定
春	Liberal Arts Seminar I	⇒	300番台総合科目(履修年次2~4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定	総合科目(履修年次2~4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定
秋	Liberal Arts Seminar II			

※<2016年度以前入学生の方へ>「English Academic Writing I/II」は4群選択科目「英語アカデミック・ライティングI/II」と同じ科目です。法・文・経営・国際文化学部の方は、4群選択科目として履修してください  
 ※<2016年度以前入学生の方へ>「English Presentation I/II」は4群選択科目「映画で学ぶ英語I/II」と同じ科目です。法・文・経営・国際文化学部の方は、4群選択科目として履修してください。

カリキュラム  
2017年度以降入学者用

# 専門科目 カリキュラム表 (2017年度以降入学者用)

	科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数	備考	
基幹科目	必修	BSP100MA	キャリアデザイン学入門		基幹必修	1～2年	2	2単位	
		BSP100MA	キャリア研究調査法入門		基幹必修	1～2年	2	2単位	
	選択必修	BSP200MA	キャリア研究調査法(質的調査)		基幹スキル	2年～	2	2単位以上	履修するためには「キャリア研究調査法入門」の単位を修得済であることが必要
		BSP200MA	キャリア研究調査法(量的調査)		基幹スキル	2年～	2		
	選択必修	BSP100MA	発達・教育キャリア入門A	発達・教育キャリア	基幹入門	1年～	2	一つの領域から6単位以上*1	
		BSP100MA	発達・教育キャリア入門B		基幹入門	1年～	2		
		BSP100MA	発達・教育キャリア入門C(生涯学習入門Ⅰ)		基幹入門	1年～	2		
		BSP100MA	発達・教育キャリア入門D(生涯学習入門Ⅱ)		基幹入門	1年～	2		
		BSP100MA	ビジネスキャリア入門A	ビジネスキャリア	基幹入門	1年～	2		
		BSP100MA	ビジネスキャリア入門B		基幹入門	1年～	2		
		BSP100MA	ビジネスキャリア入門C		基幹入門	1年～	2		
		BSP100MA	ビジネスキャリア入門D		基幹入門	1年～	2		
		BSP100MA	ライフキャリア入門A	ライフキャリア	基幹入門	1年～	2		
		BSP100MA	ライフキャリア入門B		基幹入門	1年～	2		
		BSP100MA	ライフキャリア入門C		基幹入門	1年～	2		
		BSP100MA	ライフキャリア入門D		基幹入門	1年～	2		
	選択	CAR100MA	労働法		基幹共通	1年～	2		
		BSP100MA	ファンリテーション論		基幹共通	1年～	2		
		BSP100MA	若者の自立支援		基幹共通	1年～	2		
CAR100MA		職業選択論Ⅰ		基幹共通	1年～	2			
CAR100MA		ライフコース論		基幹共通	1年～	2			
CAR100MA		生活設計論Ⅰ(社会保障)		基幹共通	1年～	2			
CAR100MA		生活設計論Ⅱ(生活設計)		基幹共通	1年～	2			
CAR100MA		キャリアモデル・ケーススタディ		基幹共通	1年～	2			
展開科目	選択必修	BSP200MA	キャリアサポート事前指導		★展開体験	2年～	2	1ペア4単位以上*2	基幹科目・展開科目 合計72単位以上
		BSP200MA	キャリアサポート実習		★展開体験	2年～	2		
		BSP200MA	多文化教育Ⅰ		★展開体験	2年～	2		
		BSP200MA	多文化教育Ⅱ		★展開体験	2年～	2		
		BSP200MA	キャリア体験事前指導		★展開体験	2年～	2		
		BSP200MA	キャリア体験学習		★展開体験	2年～	2		
		BSP200MA	キャリア体験事前指導(国際)		★展開体験	2年～	2		
		BSP200MA	キャリア体験学習(国際)		★展開体験	2年～	2		
		BSP200MA	メディアリテラシー実習Ⅰ		★展開体験	2年～	2		
		BSP200MA	メディアリテラシー実習Ⅱ		★展開体験	2年～	2		
	BSP200MA	地域学習支援Ⅰ		★展開体験	2年～	2			
	BSP200MA	地域学習支援Ⅱ		★展開体験	2年～	2			
	選択必修	EDU200MA	キャリア研究調査実習A		展開調査	2年～	2	一つの領域から36単位以上*3	展開科目から52単位以上
		EDU200MA	キャリア研究調査実習B		展開調査	2年～	2		
		EDU200MA	外書講読A(発達・教育)		展開外書	2年～	2		
		EDU200MA	外書講読B(発達・教育)		展開外書	2年～	2		
		PSY200MA	生涯発達心理学Ⅰ		発達と学習	2年～	2		
		PSY200MA	生涯発達心理学Ⅱ		発達と学習	2年～	2		
		PSY200MA	臨床教育相談論Ⅰ		発達と学習	2年～	2		
PSY200MA		臨床教育相談論Ⅱ		発達と学習	2年～	2			
PSY200MA		キャリアカウンセリングⅠ		発達と学習	2年～	2			
PSY200MA		キャリアカウンセリングⅡ		発達と学習	2年～	2			
PSY200MA		キャリアカウンセリングⅢ(ケーススタディ)		発達と学習	2年～	2			
PSY200MA		教育相談		発達と学習	2年～	2			
PSY200MA		教育心理学	発達・教育キャリア	発達と学習	2年～	2			
EDU200MA		学校論Ⅰ(キャリア形成)		学校教育と地域学習	2年～	2			
EDU200MA		学校論Ⅱ(キャリア形成)		学校教育と地域学習	2年～	2			
EDU200MA		学校論Ⅲ(キャリア教育)		学校教育と地域学習	2年～	2			
EDU200MA		学校論Ⅳ(キャリア教育)		学校教育と地域学習	2年～	2			
EDU200MA		生涯学習論Ⅰ(生涯学習支援論Ⅰ)		学校教育と地域学習	2年～	2			
EDU200MA		生涯学習論Ⅱ(生涯学習支援論Ⅱ)		学校教育と地域学習	2年～	2			
FRI200MA	図書館情報学概論Ⅰ		学校教育と地域学習	2年～	2				
FRI200MA	図書館情報学概論Ⅱ		学校教育と地域学習	2年～	2				
EDU200MA	メディア教育論Ⅰ		学校教育と地域学習	2年～	2				
EDU200MA	メディア教育論Ⅱ		学校教育と地域学習	2年～	2				
EDU200MA	教育マネジメントⅠ		学校教育と地域学習	2年～	2				
EDU200MA	教育マネジメントⅡ		学校教育と地域学習	2年～	2				

\*1 選択する領域は、\*3と同じ領域でなければなりません。

\*2 ★印の科目は前半科目(Ⅰ、事前指導等)の単位を修得した場合、ペアとなる後半科目(Ⅱ、体験等)の履修登録が可能です。

\*3 選択する領域は、\*1と同じ領域でなければなりません。

科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数	備考
EDU200MA	教育政策	発達・教育キャリア	教育と社会	2年～	2	一つの領域から36単位以上 *3	基幹科目・展開科目 合計72単位以上 経営学部主催科目*4
EDU200MA	現代教育思想		教育と社会	2年～	2		
EDU200MA	生涯学習論Ⅲ(成人教育論Ⅰ)		教育と社会	2年～	2		
EDU200MA	生涯学習論Ⅳ(成人教育論Ⅱ)		教育と社会	2年～	2		
HIS200MA	学習の社会史A		教育と社会	2年～	2		
HIS200MA	学習の社会史B		教育と社会	2年～	2		
EDU200MA	教育社会学Ⅰ		教育と社会	2年～	2		
EDU200MA	教育社会学Ⅱ		教育と社会	2年～	2		
EDU200MA	教育経済学	教育と社会	2年～	2			
MAN200MA	キャリア研究調査実習C	ビジネスキャリア	展開調査	2年～	2		
MAN200MA	キャリア研究調査実習D		展開調査	2年～	2		
MAN200MA	外書講読A(ビジネス)		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	外書講読B(ビジネス)		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	職業選択論Ⅱ		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	人材育成論Ⅰ		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	人材育成論Ⅱ		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	産業・組織心理学Ⅰ		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	産業・組織心理学Ⅱ		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	キャリア開発論		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	リーダーシップ論		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	経営統計論A(心理データ)		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	企業会計論		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	経営統計論B(企業データ)		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	経営組織論Ⅰ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	経営組織論Ⅱ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	戦略経営論Ⅰ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	戦略経営論Ⅱ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	経営分析論Ⅰ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	経営分析論Ⅱ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	アントレプレナーシップ論Ⅰ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	アントレプレナーシップ論Ⅱ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	職業キャリア論		産業社会	2年～	2		
ECN200MA	労働経済学		産業社会	2年～	2		
MAN200MA	シティズンシップ論		産業社会	2年～	2		
MAN200MA	生産システム論		産業社会	2年～	2		
MAN200MA	国際経営論		産業社会	2年～	2		
ECN200MA	日本経済論		産業社会	2年～	2		
ECN200MA	産業論	産業社会	2年～	2			
MAN200MA	広告ビジネス論	産業社会	2年～	2			
MAN200MA	マーケティング論	産業社会	2年～	2			
MAN200MA	流通・マーケティング戦略論	産業社会	2年～	2			
MAN200MA	流通・サービスビジネス論	産業社会	2年～	2			
MAN200MA	就業機会発見実務	産業社会	2年～	2			
SOC200MA	キャリア研究調査実習E	ライフキャリア	展開調査	2年～	2		
SOC200MA	キャリア研究調査実習F		展開調査	2年～	2		
SOC200MA	外書講読A(ライフ)		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	外書講読B(ライフ)		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	コミュニティ社会論Ⅰ		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	コミュニティ社会論Ⅱ		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	家族論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	若者文化論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	世代間交流論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	身体表現論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	地域文化論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	アイデンティティ論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	余暇集団論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	NPO論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	公共サービス論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	アート・マネジメント論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	文化経営論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	メディア文化論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	文化マーケティング論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	ブランド創造論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	産業文化論		文化マネジメント	2年～	2		
CUM200MA	ミュージアム概論		文化マネジメント	2年～	2		
CUM200MA	ミュージアム経営論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	多文化社会論Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2		
SOC200MA	多文化社会論Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2		

\*3 選択する領域は、\*1と同じ領域でなければなりません。

\*4 試験・休講・教室変更等の諸連絡については各学部の掲示板を見ること。

		科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数			備考
展開科目	選択必修	SOC200MA	多文化社会論Ⅲ	ライフキャリア	多文化・グローバル社会	2年～	2	一つの領域から3～6単位以上	展開科目から5～2単位以上		
		ARSx200MA	アジア社会論Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2				
		ARSx200MA	アジア社会論Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2				
		ARSx200MA	国際関係論Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2				
		ARSx200MA	国際関係論Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2				
		ARSx200MA	国際地域研究Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2				
		ARSx200MA	国際地域研究Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2				
	総合	CAR200MA	就業機会とキャリア			2年～	2				
		CAR200MA	職業能力ベーシックスキルⅠ			2年～	2				
CAR200MA		職業能力ベーシックスキルⅡ			2年～	2					
演習科目	選択	EDU200MA	演習(発達・教育)			2年～	各2			2年秋学期より履修可 10単位まで履修可 *3	
		MAN200MA	演習(ビジネス)			2年～	各2				
		SOC200MA	演習(ライブ)			2年～	各2				
		EDU400MA	卒業論文(発達・教育)			4年	4				
		MAN400MA	卒業論文(ビジネス)			4年	4				
		SOC400MA	卒業論文(ライブ)			4年	4				
		OTR400MA	キャリアデザイン学総合演習			3～4年	2				
関連科目	選択	LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅰ)			1年～	1			外国語科目英語(必修)に充当することはできない。	
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅱ)			1年～	1				
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅲ)			1年～	1				
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅳ)			1年～	1				
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅴ)			1年～	1				
		LANe200MA	スタディ・アブロードⅠ			2年～	4				
		LANe200MA	スタディ・アブロードⅡ			2年～	4				
		LANe200MA	スタディ・アブロードⅢ			2年～	4				
		LANe200MA	スタディ・アブロードⅣ			2年～	4				
		CAR200MA	就業機会とキャリア特講			2年～	2				
		CAR200MA	地域活性論			2年～	4				
		CAR300MA	就業応用力養成Ⅰ			3年～	2				
		CAR300MA	就業応用力養成Ⅱ			3年～	2				
		MAN300MA	財務会計論Ⅰ			3年～	2				
		MAN300MA	財務会計論Ⅱ			3年～	2				
		MAN300MA	監査論Ⅰ			3年～	2				
		MAN300MA	監査論Ⅱ			3年～	2				
		MAN300MA	税務会計論Ⅰ			3年～	2				
		MAN300MA	税務会計論Ⅱ			3年～	2				
		MAN300MA	管理会計論Ⅰ			3年～	2				
		MAN300MA	管理会計論Ⅱ			3年～	2				
		MAN300MA	原価計算論Ⅰ			3年～	2				
		MAN300MA	原価計算論Ⅱ			3年～	2				
		MAN300MA	経営分析Ⅰ			3年～	2				
		MAN300MA	経営分析Ⅱ			3年～	2				
		SOC100MA	異文化適応論			1年～	2				
		SOC200MA	市民社会と政治			1年～	2				
CAR200MA	労働環境法			2年～	2						
2020年度休講											
経営学部主催科目 *4											
会計の基礎知識を備えていることが受講の条件として指定されている科目が多いのでシラバスをよく読むこと。											
国際文化学部主催科目 *4											
2020年度休講											
人間環境学部主催科目 *4											

\*3 選択する領域は、\*1と同じ領域でなければなりません。

\*4 試験・休講・教室変更等の諸連絡については各学部の掲示板を見ること。

	科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数	備考
関連科目	選択	CAR300MA	社会貢献・課題解決教育			3年～	4	2020年度休講
		EDU100MA	教職入門			1年～	2	
		EDU100MA	教育原理			1年～	2	
		EDU100MA	教育の制度・経営			1年～	2	教職課程「教職に関する科目」 教職課程の履修方法やシラバスは別冊「教職課程履修要綱」を見ること。
		EDU200MA	教育課程論			2年～	2	
		EDU200MA	教育方法論			2年～	2	資格課程科目 各資格課程(図書館司書・司書教諭、博物館学芸員、社会教育主事)の履修方法やシラバスは別冊「資格関係科目履修要綱」を見ること。
		FRI200MA	図書館演習			2年～	4	
		FRI200MA	図書館サービス概論			2年～	2	
		FRI200MA	情報サービス演習			2年～	4	
		FRI200MA	図書館情報資源概論			2年～	2	
		FRI200MA	図書館情報資源特論			2年～	2	
		FRI200MA	読書と豊かな人間性			2年～	2	
		FRI200MA	情報メディアの活用			2年～	2	
		CUM100MA	ミュージアム資料論			1年～	2	
		CUM100MA	ミュージアム教育論			1年～	2	
		EDU200MA	社会教育演習			2年～	4	
EDU200MA	現代生活・文化と社会教育 I			2年～	2			
EDU200MA	現代生活・文化と社会教育 II			2年～	2			
自由科目	-	他学部公開科目			2年～		16単位まで履修可	
	-	ESOP科目 *5			1年～			
	-	ERP科目 *5			1年～			
	-	グローバル・オープン科目			1年～			
	-	「国際インターン」「国際ボランティア」*5 *6			1年～	各1		
	-	短期語学研修 *5 *6			1年～	2		

\* 5 グローバル教育センター設置科目です。参加後に必要手続きを経て単位認定を行います。  
 \* 6 履修登録上限単位数の対象外となります。

学生証番号の頭 2 桁が「17」以降の方

## 履修上の注意 (2017 年度以降入学者)

留級した学生および進級した学生が未修得の科目を再履修する場合は、法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板の案内を確認してください。

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



※科目名については P.学部一 (11) を参照してください。

### 1. ILAC (アイラック) 科目 0 群～3 群の履修について

#### ★0 群★

- 「キャリアデザイン入門」は、1 年次のみ履修可能です。
- 「キャリアデザイン応用」は、2017 年度までに「就業基礎力養成 I」の単位を修得した方は履修できません。

	2017 年度までに <u>就業基礎力養成 I</u> の 単位を修得済み	2017 年度までに <u>就業基礎力養成 II</u> の 単位を修得済み	2017 年度までに <u>キャリアデザイン演習</u> の 単位を修得済み
キャリアデザイン応用	×履修できません	○履修できます	○履修できます

- 「大学を知ろう <法政学>への招待」は、2018 年度までに「法政学への招待」の単位を修得した方は履修できません。

#### ★1 群～3 群★

- 1 年次生が ILAC 科目 1 群～3 群の科目を履修する場合は、学部・学科・クラス等の指定があります。2～4 年次生が履修する場合は学部・学科・クラスの指定はありません。ILAC 科目時間割を確認し、選択してください。
- 「教養数学 A・B」は 1 年次生以上が履修可能です。「基礎数学 I・II」は 2 年次生以上が履修可能です。
- 「サイエンス・ラボ A」と「サイエンス・ラボ B」は実験授業のため定員制です。そのため、履修登録前に仮登録が必要です。仮登録の詳細については、法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板等を参照してください。

**2020 年度から**

【注意：履修登録期間の前に実施】

### ILAC 科目大人数授業の抽選実施について

本学では教育の質向上、学修環境の整備をはかり、単位制度の実質化を推進しています。学生の皆さんに適正な授業環境を提供することは、本学教育上の使命を果たす上での大前提とも言えます。

そこで、今年度 (2020 年度) より、以下の授業 (昨年度の履修登録者数を基に選定) について、抽選制を導入します。対象授業の履修を希望する場合には、抽選ガイド (※) をよく読み、手続きを行ってください。

**学生証番号の頭2桁が「17」以降の方**

**抽選申し込み期間・方法・抽選結果発表について**

詳細は、抽選ガイド(※)を確認してください。  
(※) 抽選ガイドは、法政ポータルサイト Hoppii からアクセスできる Web 掲示板に掲載します。  
Hoppii URL : <https://hoppii.hosei.ac.jp>  
QR コード :



**抽選のルール及び抽選対象授業について**

抽選ルールは以下のとおりです。

- ・春学期・秋学期セット（例：以下の表の項番1）で当選とする。
- ・抽選後、定員に満たなかった場合にも、追加受け入れはしない。
- ・原則、当選した場合は春学期・秋学期授業ともに履修することとするが、やむを得ず履修を取りやめたい場合には、各学部の履修登録期間中に履修登録を削除すること。その場合、削除した科目（単位）分の履修追加が可能である（ただし、各学部の履修上限の範囲内）。

※留学期間中の履修登録の対応については、学部の指導に従ってください。

抽選に申し込む際には、落選する可能性があることを十分考慮して、履修計画を立ててください。

## 学生証番号の頭 2 桁が「17」以降の方

抽選対象授業は以下のとおりです。2016 年度以前入学の学生は、ILAC/市ヶ谷基礎科目新旧対応表と照らし合わせ、科目名を確認してください。

項番	科目分類(※1)	優先順位(※2)	科目名	曜日時限	教員名	履修対象	抽選定員(※3)
1	1群 基盤	B	外国文学A/B	水曜 3 時限	梁 禮先	法文営国環キ 1~4 年	308名
2	1群 基盤	A	東洋史 I / II	月曜 5 時限	齋藤 勝	法 1 年 A~N、国キ 1 年、 法文営国環キ 2~4 年	502名
3	1群 リベラル	B	日本文学と文化 LG/LH	火曜 3 時限	榎本 正樹	法文営国環キ 1~4 年	355名
4	1群 リベラル	B	日本文学と文化 LG/LH	火曜 4 時限	榎本 正樹	法文営国環キ 1~4 年	466名
5	2群 基盤	A	社会思想 I / II	月曜 3 時限	熊沢 敏之	環 1 年、 法文営国環キ 2~4 年	400名
6	2群 リベラル	B	心理学LA/LB	水曜 5 時限	海部 紀行	法文営国環キ 1~4 年	400名
7	2群 リベラル	B	心理学LA/LB	木曜 5 時限	海部 紀行	法文営国環キ 1~4 年	466名
8	3群 リベラル	B	教養化学LA (※春学期のみ)	水曜 4 時限	向井 知大	法文営国環キ 1~4 年	400名

(※1) 科目分類について 基盤：基盤科目、リベラル：リベラルアート科目を示します。

(※2) 優先順位について A：1 年次生が優先です。 B：2~4 年次生が優先です。

(※3) 抽選定員は教室定員と連動しているため、今後、変更となる可能性もあります。

## 2. ILAC (アイラック) 科目 4 群 (外国語) の履修について

### (1) 必修外国語科目 (4 群必修科目)

「英語」と、諸外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「ロシア語」、「中国語」、「スペイン語」、「朝鮮語」、「日本語」(留学生のみ)のうちから一つの合計 2 言語を学びます。1 年次に、英語 (4 単位) と英語以外の諸外国語 (4 単位) の計 8 単位を履修します。

- a. 必修外国語はクラス指定があります。それぞれ指定されたクラスで履修してください。
- b. 英語は、習熟度別クラス編成を行っています。1 年次に ELPA 英語プレースメントテスト α が 2 回 (4 月・1 月) 行われ、4 月実施の ELPA 英語プレースメントテスト α のスコアでみなさんの必修英語のクラスを決定します。必ず受験してください。
- c. 4 群 (外国語) の必修単位は 8 単位です。1 年次で 2 言語をそれぞれ週 2 回・年間 8 単位修得します。ただし、SS I 生は英語 4 単位以上が必修です。
- d. SS I 生は指定されたクラスで「英語 1-I・II」、「英語 2-I・II」を履修するか、SS I 生用の授業「入門英語 (SS I) I/II」を履修するか、いずれの方法でも単位修得は可能です。ただし、

**学生証番号の頭2桁が「17」以降の方**

- 教員免許を取得する場合には、「英語1-I/II」、「英語2-I/II」を2単位以上修得する必要があります。
- e. 3年次までに8単位以上（SSI生は英語4単位以上）を修得しなければなりません。できるだけ2年次までに履修を終えるようにしてください。
  - f. 入学時に選択した諸外国語は、原則、途中から他の外国語に変更することはできません。  
この内容に問い合わせがある場合は、キャリアデザイン学部窓口を確認してください。

科目		科目名	必修単位	
SSI・留学生 以外の学生	英語	英語 1-I/II	4 単位以上	3 年次までに 8 単位以上修得
		英語 2-I/II		
	諸外国語	〇〇語 1-I/II	4 単位以上	
		〇〇語 2-I/II		
SSI 生	英語 右記より4単位以上選択 ・教員免許を取得する場合は、(英語 1・2-I/II)を2単位以上修得することが必要 ・入門英語 (SSI) は連続・重複履修可	英語 1-I/II	4 単位以上	3 年次までに 4 単位以上修得
		英語 2-I/II		
		入門英語 (SSI) I/II		
留学生	英語	英語 1-I/II	4 単位以上	3 年次までに 8 単位以上修得
		英語 2-I/II		
	日本語	日本語 1-I/II	4 単位以上	
		日本語 2-I/II		

**(2) 外国語選択科目（4群選択外国語）**

必修外国語以外に、次の外国語選択科目があります。いずれも、4群選択外国語科目に集計されます。また、英語の選択科目は必修英語科目に充当することができます。

**英語の選択科目**

英語の4群選択科目には次の科目があります。

Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-I / II、Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-I / II、Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-I / II、Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-I / II、Practical English (英語検定試験対策) A-I / II、Practical English (英語検定試験対策) B-I / II、English for Study Abroad I、English for Study Abroad II

いずれも定員は約25名で、履修年次は1～4年次です。Aは初級、Bは中級です。English for Study Abroad I / IIを除き、Iは春学期、IIは秋学期に開講されます。English for Study Abroad I / IIは外国に留学する場合の科目で、I / IIとも春学期に開講されます。

キャリアデザイン学部の留学制度 (Study Abroad) については学部- (90) を参照してください。

**諸外国語の選択科目**

英語以外の外国語についても、必修外国語の他にさらに諸外国語を学びたい学生のために選択外国語があります。選択外国語は、それぞれの言語を学びながら、諸外国の歴史・文化・生活に接し、理解を深めることを目的に開講されています。ロシア語以外の外国語には、クラス授業以外に履修できる選択科目があります。「ドイツ語」には、「コミュニケーション」「表現法」「視聴覚」「時事ドイツ語」「検定ドイツ語」などがあります。「フランス語」には、「コミュニケーション (初級)」「視聴覚 (入門)」「視聴覚 (初・中級)」「時事フランス語」「検定フランス語 (初級)」などがあります。「中国語」には、「コミュニケーション基礎」「コミュニケーション初級」「作文初級」「視聴覚初級」「資格中国語初級」などがあります。「スペイン語」には、「コミュニケーション」「時事スペイン語」などがあります。「朝鮮語」には、「3C (コミュニケーション)」「4B (視聴覚)」「5A (講読)」「5B (表現法)」な

## 学生証番号の頭 2 桁が「17」以降の方

どがあります。入学時に希望した諸外国語の選択科目のみ履修が可能です。留学生は日本語の選択科目のみ履修可能です。

なお、選択科目のテキストは、担当教員より受講が許可されてから購入してください。

- a. 春学期、秋学期を合わせて通年で履修（同一科目のⅠとⅡを連続して履修）することが原則となります。Ⅱ（秋学期）のみを履修する授業であっても、そのⅡに対応するⅠの科目の4月の春学期1回目の授業に出席し、受講許可を得て、9月に履修登録を行ってください。受講許可を得る時には、必ず同一科目をⅠ・Ⅱ（春学期+秋学期）とも履修するのか、それともⅠ（春学期）あるいはⅡ（秋学期）のみ履修するのかを、4月の春学期1回目の授業に出席し、担当教員に申し出てください。
- b. 各科目（秋学期科目含む）とも、必ず4月の春学期1回目の授業に出席し、担当教員から受講許可を得てください。選抜を行う場合もあります。受講が許可された場合のみ履修登録が可能です。選抜を行った場合、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb 掲示板にて発表します。

### (3) 国際コミュニケーション語学（専門科目）

ILAC科目外国語科目の他に、英語について、専門科目の関連科目である国際コミュニケーション語学があります。

国際コミュニケーション語学の英語は、国際コミュニケーション語学・英語Ⅰ／Ⅱ（中級オーラル）、国際コミュニケーション語学・英語Ⅲ／Ⅳ（中級～上級オーラル）、国際コミュニケーション語学・英語Ⅴ（中級ライティング）があります。いずれも定員は約25名です。なお2017年度以降入学者は、ILAC科目100番台の外国語科目英語（必修）に充当することはできません。（教員免許を取得する場合は英語1-Ⅰ・Ⅱ／2-Ⅰ・Ⅱから2単位以上修得する必要があります。）

国際コミュニケーション語学は、ILAC科目ではありませんが、ILAC科目の必修外国語、4群選択外国語科目と併せて履修するようにして下さい。

なお外国語科目については、1年生むけの履修ガイダンスで詳しく説明します。

## 3. ILAC 科目（2017 年度以降入学生）/基礎科目（2016 年度以前入学生）5 群（体育科目）の履修について

### (1) 科目名・履修年次・単位

科目名(系列)	履修年次	単位	
(必修科目) スポーツ総合演習	原則として 1年次に履修	2単位	3年次修了までに必ず修得する必要があります。
(選択科目) <2017 年度以降入学生> スポーツ総合演習S <2016 年度以前入学生> スポーツ総合演習	1～4 年次	2単位	<u>必修ではありません。</u> 2単位まで履修できます。 修得した単位は ILAC 科目/基礎科目の単位として卒業所要単位に計上されます。

### (2) 内容

体育についての演習（講義および実技）

### (3) 授業形態・実施場所・期間

授業形態	授業期間	種目	場所
通常授業	春学期または秋学期	複数の種目の複合	①市ヶ谷総合体育館 ②富士見坂体育館

学生証番号の頭2桁が「17」以降の方

**(4) 保健体育ガイダンス(保健体育時間割の説明・受講授業の決定・仮登録)**

対象	内容	日時	場所
2020年度 入学生	学部ガイダンスで説明 (日時・場所は入学時配布の「新入生連絡事項」を参照)		
2019年度以前 入学生	必修科目の再履修ガイダンス ★必修単位未修得者は必ず参加する ★再履修で集中授業を希望する者もここに参加する	日時・場所については、web 掲示板を確認してください。	
全入学年度 共通	選択科目のガイダンス ★希望者のみ参加する		

**(5) 履修登録(日時等詳細は学部ガイダンスで説明)**

①新入生の必修科目

Webの申請画面に事前登録されるので各自でWeb履修登録を完了してください。

②選択科目希望者

ガイダンスに参加して受講希望票を提出し、受講許可を得てから各自でWeb履修登録を完了してください。

**(6) 健康診断等**

大学実施の健康診断を必ず受けてください。

**(7) 体育会入部者**

授業の受講に代えて、体育会(準加盟部は除く)の活動により、5群科目の必修単位を修得することができます。

体育会活動による単位の修得は体育会での1年間の活動で2単位です。

在学中に体育会活動によって修得できる単位の上限は2単位です。

この制度を実施していない学部もあるので注意してください。

春学期履修登録期間内(部員本人の所属学部の指示する日)に申請手続きが必要となりますので、所属学部窓口にて用意してある所定用紙に記入の上、提出してください。

**(8) 連絡**

体育科目に関わる連絡は、法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板、市ヶ谷総合体育館1Fで行います。

**(9) 心身の状態についての相談**

体育の授業を履修するにあたり、心身の状態について心配があり、相談したいという場合は、保健体育センターに問い合わせてください。

※問い合わせ先 保健体育センター市ヶ谷体育課: 電話03-3264-9498

## ILAC 科目の目的と内容

※ 履修上の注意は P. 学部一 (20) ～を参照してください。

### ILAC科目100番台～300番台／0群～5群について

ILAC (アイラック) 科目は半期 (春学期・秋学期) ごとに授業を完結する Semester 制を採用しており、科目名の後に「I / II」、「A/B/C/D・・・」と表記します。成績評価は半期ごとに出され、単位を修得していきます。科目名称によって、以下のような特徴があります。履修計画の参考としてください。

- ①「I / II」とは、連続履修することで、より理解が深まるとされる科目を示しています。II については I を履修していることが前提となっている科目もあるので、履修登録前に、必ず WEB シラバスで確認してください。特に外国語科目 (必修および選択科目) は、原則として I / II を連続履修することが前提とされていますので、注意が必要です。
- ②「A/B/C/D・・・」とは、「I / II」のように履修の順次性を問わない科目を示しています。例えば、「〇〇学 A」と「〇〇学 B」では、「〇〇学 B」は必ずしも「〇〇学 A」の履修を前提としていません。「〇〇学 A」と「〇〇学 B」とで、異なる分野の学習を通じて、相互の理解を深めることができます。
- ③ リベラルアーツ科目は、科目名の後に「L」が付きます (例: □□学 L I / L II、△△論 LA/LB/LC/LD・・・)。これは、基盤科目との違いを明示するものです。リベラルアーツ科目には、基盤科目を履修していることが前提になっている科目もあります (例: 倫理学 L I は、倫理学 I の内容をさらに発展させて学ぶ)。履修登録前に、WEB シラバスで必ず確認し、計画的な学習を心掛けてください。

単位を修得した同名科目を再度履修することはできません。

ただし、I と II、A と B、A と LA 等は異なる科目です。例えば、〇〇学 A と 〇〇学 LA であれば、どちらも履修することができます。科目名称のルールを理解し、計画的に履修してください。

なお、以降の説明では、特別な場合を除き「I」「II」(または「III」「IV」) 等の記述を省きます。

#### (1) ILAC 科目修得により目指すもの

ILAC 科目は、人文科学・社会科学・自然科学・情報科学・外国語・保健体育・キャリアデザインなどの各分野をバランスよく学ぶことによって、社会や世界で活躍するために必要な、幅広い知識や柔軟な思考法、自主的に課題を発見しそれを解決する力や文章作成能力、他者との円滑なコミュニケーション能力など、真の意味での「教養」を身につけるために開設されています。基礎力を養成する基盤科目から、応用・発展的なリベラルアーツ科目、専門性の高い総合科目<sup>※</sup>など、段階に応じて多様で体系的な学修が可能となります。

※キャリアデザイン学部生は、公開科目として2年次以上で履修します。

#### (2) ILAC 科目のカリキュラムについて

各科目には次のような番号 (ナンバリング) が付されています。これは「学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示するための仕組み」です。

100 番台には、基盤科目・外国語科目・選択基盤科目が設置されています。大学生としての基本的な学問への臨み方、および各分野の知識・考え方を身につけ、大学4年間の学習の土台づくりを行うことを目的としています。

200 番台には、リベラルアーツ科目と外国語科目が設置されています。リベラルアーツ科目では、基盤科目の内容をさらに発展、または専門的にした授業が開講されており、みなさんの興味に応じて、教養を深め、視野を広げることができます。また、外国語科目では、1年次に履修した語学のスキルや教養としての外国語をさらに向上させます。

300 番台には、総合科目・教養ゼミが設置されています。100 番台・200 番台の科目の学びをさら

**学生証番号の頭2桁が「17」以降の方**

に発展させ、真のリベラルアーツの修得を目的としています。少人数で開講される教養ゼミでは、教員や受講生との議論・学び合いを行うことができます。

移り変わりの激しい時代を生きる私たちには、学問の壁を越えて、柔軟な発想で知識・考え方を取り入れ、直面する問題を打開し、自由な世界を切り開いていく必要があります。リベラルアーツとは単に教養科目を意味するものではなく、自由な世界を切り開く知識・考え方、それを修得する力を示します。真のリベラルアーツを、ILAC科目で修得していきましょう。

科目名称	基礎科目	外国語科目	選択基礎科目	リベラルアーツ科目	外国語科目	総合科目・教養ゼミ
分野	1・2・3・5群の科目	4群(英語、諸外国語)の必修科目	0群の科目	0～5群の科目	4群・選択外国語	1～5群の科目
科目	日本古典文学A/B 社会学I/II 入門生物学A/B等	English1 I/II English2 I/II ○○語1 I/II ○○語2 I/II	基礎ゼミ、情報処理演習I キャリアデザイン入門 法政学への招待等	日本史I/II 地理学IA/LB フランスの文化と社会 IA/LB 健康の科学IA/LB等	English3 I/II ビジネス・イングリッシュ I/II ○○語3 I/II ○○語4 I/II 中国語コミュニケーション基礎I/II	美術論A/B 人間行動学A/B 集合論A/B 教養ゼミ(各教養ゼミごとにテーマあり)など
概要	教養(リベラルアーツ)・専門学部の学びの基礎となる、人文科学・社会科学・自然科学のそれぞれの学問分野における基礎的な知識と基本的な考え方、および保健体育科目をバランス良く学びます。	大学の初年次生として必要な基礎的な語学力を養うと同時に、異文化や世界の情勢への理解を深めるため、英語をはじめ諸外国語(ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語)をバランス良く学びます。	既存の学問分野にとらわれない汎用性のある知識や技能を身に付けるため、基礎ゼミや情報処理、就業力育成など、初年次に修得すべき科目を学びます。法政学では法政大学の歴史や現状について学ぶことができます。	基礎科目で修得した基礎的な知識の上に、さらに深い教養を身につけます。各学問分野をより高度に、バランス良く修得するとともに、専門科目の枠組みに縛られない体系的・学際的な学びを可能にします。	学生の選択に基づき、より高度な語学力や異文化理解力の向上を目指し、現代のグローバル社会に通用する国際感覚を養います。英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語の全てが開講されています。	リベラルアーツ科目と連動した発展的な学びから、単独で完結する学びまで、多様な科目を配置し、真のリベラルアーツの修得を目指します。教養ゼミではゼミナール形式で、学部専門科目とは異なる高度な学びを実現します。
年次	100番台 ※1 (1年生以上)		200番台 ※2 (1・2年生以上)		300番台 ※3 (2年生以上)	

- ※1 100番台・・・主として基礎的な内容の科目を意味しています。
- ※2 200番台・・・主として応用的な内容の科目を意味しています。
- ※3 300番台・・・主として発展的な内容の科目を意味しています。

市ヶ谷リベラルアーツセンターでは、カリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリーを作成しています。以下から確認することができますので、履修の際には、本冊子、WEB シラバスとあわせて、ぜひ参考にしてください。

URL : <http://www.hoseikyoiku.jp/ilac/index.html>

カリキュラム・マップ	ILAC科目/市ヶ谷基礎科目・総合科目と学習到達目標の相関関係を表で示したもの	
カリキュラム・ツリー	学習目標を達成するために、ILAC科目/市ヶ谷基礎科目・総合科目がどの分野、年次に配当されているかなどを図で示したもの	

## 学生証番号の頭2桁が「17」以降の方

### (3) 各分野の概要について

#### ILAC 科目0群

ILAC 科目0群を開設する目的は、ILAC 科目の1群から5群までの科目の履修を容易にするため、それらの導入部を学び、基本的な知識を備えるためです。

- ・「大学を知ろう <法政学>への招待」(2018 年度まで「法政学への招待」)、「法政学の探究」は法政大学の歴史と現状を知ること、本学で学ぶことの意義を考え、より深い理解を得るための科目です。
- ・「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン応用」は、「大学生が『就業力』を身につけるために、授業で何をどのように学ぶべきか」を目的に編成された科目です。卒業後に働くことを考えたとき何を大学時代に学んでおけばいいのか、深く考える仕組みを授業に取り入れています。
- ・「基礎ゼミ」は、1年次生を対象として開講されます。キャリアデザイン学部専任教員による少人数クラスで行う必修の科目です。
- ・「情報処理演習」は、コンピュータの操作の基礎を学ぶ、1 Semester 完結の科目です。担当教員によって取り上げる内容・レベルに違いがあるため、WEB シラバスをよく読んで自分に合った授業を選んでください。なお、PC台数に限りがあるため、受講希望者が多数の場合は抽選となります。また、教員免許を取得するために必要な科目です。

#### ILAC 科目1群(人文科学分野)

1群の科目は、文化全般をその研究対象とし、さらに、文化を創り出す人間とは何か、という研究課題をもっています。そのため、研究対象と講義内容は、多岐にわたります。

基本となるのは、「文学」「歴史」「哲学」の3分野といえます。文学では、日本の古典・近現代文学を始め、中国古典文学や西欧文学の講義を開講しています。哲学や歴史についても同様に、日本・東洋・西洋それぞれの専門の教員による講義が設置されており、さらに論理学・倫理学・言語学・文章論・宗教学・芸術なども含むさまざまな分野の教員による講座を開講しています。

以上の科目は「人文科学」と呼ばれ、古来教養の根幹をなす学問分野です。これらの科目を受講することを通して、幅広い知見を身につけるとともに、過去を学ぶことによって現在を考察し、さらには未来を展望する能力をつけることが狙いとなります。

#### ILAC 科目2群(社会科学分野)

2群の開講科目は、「法学」「政治学」「経済学」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学」「社会思想」の8分野です。

これらの科目は、いずれも、人間社会のさまざまな側面を、それぞれ独自の視角や方法によって分析・検討するものです。各科目では、それぞれの分野の基本的な知識や視点を学ぶことで、人間社会のさまざまな現象を理解するための基礎的な教養と知見を身につけます。それと同時に、特にリベラルアーツ科目を通じてそれぞれの分野が築き上げてきた理論や手法を学ぶことで、専門的・発展的な問いを考えていくための思考力・洞察力を養います。

学生のみなさんには、それぞれの科目を通じて、自分がそのなかの一員である社会について理解を深めて、人間社会のさまざまな現象や問題について考える基礎としてほしいと思います。

#### ILAC 科目3群(自然科学分野)

3群は、さまざまな自然科学の授業によって構成されています。

基盤科目では、自然科学の学習に必要な基礎的知識を習得します。リベラルアーツ科目では、さまざまなテーマを発展的に学習します。さらに、専門科目である総合科目や教養ゼミを通して、それらのテーマをより深く探求できるようなカリキュラム構成となっています。

基盤科目は、「教養数学」「基礎数学」「入門物理学」「入門化学」「入門生物学」「天文学」「科学史」および「サイエンス・ラボ」からなる選択必修科目です。いずれも、文科系の初学者にもわかりやすく学ぶことができるよ

**学生証番号の頭2桁が「17」以降の方**

う工夫されています。

リベラルアーツ科目は、「数学特講」「発展数学」「教養物理学」「教養化学」および「教養生物学」からなる選択必修科目です。各自の興味に合わせて発展的な学習を行ってください。

なお、基礎数学および発展数学は順次性のある科目です。Ⅰ→Ⅱの順に履修することが望まれます。

3群の履修を通して、学生の皆さんが自然科学そのものに興味を持つだけでなく、自然科学を通したものの見方を習得し、各自の専門分野における学習・研究に役立てることが期待されています。

**ILAC 科目4群(外国語科目)**

必修外国語のほか、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、日本語についてのおさまな選択科目があります。

必修外国語は卒業所要単位です。選択科目の外国語関係科目も、修得すれば卒業所要単位に含めることができ、なるべくあわせて履修することが望まれます。また、他学部公開科目にある総合科目の中にはさまざまな外国語関係科目があり、履修・修得すれば、専門科目としての単位になります。なお、他に、専門科目の関連科目群に含まれる選択科目の国際コミュニケーション語学があります。4群の科目ではありませんが、4群の選択科目の外国語関係科目と、体系的な履修ができるようになっています。

- ★受講定員のある科目:春学期1回目の授業に出席し、担当教員の受講許可を得てください。選抜を行う場合、方法は教員が指示します。許可された学生のみ履修登録できます。
  - ★春学期のみ、秋学期のみ履修を希望する場合も、必ず春学期の1回目の授業で教員にその旨を申し出て、受講の許可を受けてください。
- 選抜結果は市ヶ谷リベラルアーツセンター(ILAC)WEB 掲示板で発表します。

**<英語>**

基礎科目の「英語」は、高校までに身につけた運用能力を発展させると共に、広く英語圏の文化への理解を深めるためのものです。

**<諸外国語>**

外国語科目は、必修諸外国語（1年次）と選択外国語、さらにリベラルアーツ科目と総合科目\*から構成されています。

必修諸外国語では、大学で新しく出会う外国語の基礎を1年次に学びます。また、学び始めた外国語の能力をより高めたい場合には、選択外国語科目として「〇〇語コミュニケーション」「〇〇語視聴覚」「時事〇〇語」などバラエティ豊かな科目が設置され、さまざまなアプローチから外国語に接し、語学力の修得とともに生きた外国語の世界に触れながら4年次まで学習を続けることができます。

リベラルアーツ科目には、1年次から履修できる「〇〇語の世界L」という入門のための科目があります。2年次から履修できる「〇〇の文化と社会L」では、その言語が話される地域の文化や生活を広く深く学ぶことができます（「フランスの文化と社会L」のみ1年次から履修できます）。

総合科目\*では、それまでに学習した外国語の能力を十分に生かしつつ、より高度で専門的な内容を学んでいきます。また、英語と諸外国語を一つ学んだのちに、さらにもう一つの外国語の世界に触れてみたいと思うグローバルな関心を抱く学生のために「第三外国語としての〇〇語」という科目があります。

このように、法政大学では、とても多彩な外国語の世界がみなさんを待っています。

なお、選択外国語科目のテキストは、担当教員より受講が許可されてから購入してください。

※キャリアデザイン学部生は2年次以上で公開科目として履修します。

公開科目のうち、キャリアデザイン学部生のみ履修可能な科目もあります。積極的に履修してください。詳しくは、WEBシラバスを確認してください。

## 学生証番号の頭2桁が「17」以降の方

### ILAC 科目5群(保健体育分野)

スポーツ総合演習は、①クラス指定の週1回半期型、②自由に選択履修できる週1回半期型の2つの形式で開講されています。

①は必修科目で、原則学部・学科・所属クラスを単位として履修する授業の学期・曜日・時限が指定されています。②は選択科目で、いずれも学部を問わず履修可能ですが、履修希望者が多数の場合には事前のガイダンスにおいて授業ごとに抽選で履修可能者が決定されます。卒業のためには、上記のいずれかの形式で2単位を取得することが必須となりますが、5群の単位としては①、②の授業を各1回、計4単位を上限として履修・取得することが認められています。

授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験およびレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与することになります。

スポーツ総合演習の詳細については、学部ガイダンスの際に説明します。また、2年次以降にも選択科目の内容を深めた5群科目も用意されています。



# 専門科目の履修

キャリアデザイン学部では、人が生涯にわたってたどる人生の軌跡の総体を「キャリア」として捉え、自己のキャリアを自律的・主体的にデザインするとともに、他者のキャリア形成を支援する能力を身につけていきます。そこで、とくにキャリアの設計・再設計をめぐる調査・研究を進めることができる知識・能力の養成を重視し、講義型科目および体験型科目双方を車の両輪としたカリキュラムを用意しています。こうしたカリキュラムを系統的に履修・学習することによって、自ら社会に働きかけていくことができる人材の育成を目指しているのです。

本学部では、キャリア形成の代表的な場として、(1)発達・教育キャリア領域（教育組織や人の発達など生涯学習社会におけるキャリア形成）、(2)ビジネスキャリア領域（人材育成や組織マネジメントなど産業社会におけるキャリア形成）および(3)ライフキャリア領域（家族や地域コミュニティなど生活に密接した場におけるキャリア形成）という三つの領域を設けています。専門性の高いキャリアデザイン研究を行うためには、基盤となる知識群について広く学際的に学んだ上で、一定の領域に絞って、専門的な知識群を深く学んでいく必要があります。このため、本学部のカリキュラムでは、基盤となる知識群を履修・学習した上で、上記(1)～(3)のいずれかの領域を選択し、当該領域を重点的に学ぶことによって高度な専門性をもった知識を身に付けるように体系づけられています。

科目履修の設計に際しては、卒業後の進路を念頭に置くとともに、学部教育を通じてどのような力をつけたいかを考え、履修計画を立ててください。そのために確認したいことや質問したいことがあれば、キャリアアドバイザーや基礎ゼミの担当教員等に相談して下さい。

本学部のカリキュラムの全体像については、下記の「カリキュラムの全体図」をご覧ください。

4年秋学期	学生研究発表会				
<b>演習科目</b> 2年秋学期～	専門演習(ゼミ 2年秋学期～)・卒業論文(4年)      キャリアデザイン学総合演習(3～4年) ※演習全10単位・卒論4単位				
<b>展開科目</b> (プログラム科目) 2年春学期～ ※52単位以上 (選択した領域で36単位以上)	<b>教育と社会(マクロ)</b> 現代教育思想 教育社会学Ⅰ・Ⅱ など	<b>産業社会(マクロ)</b> 労働経済学 職業キャリア論 など	<b>多文化・グローバル社会(マクロ)</b> 多文化社会論Ⅰ～Ⅲ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 国際地域研究Ⅰ・Ⅱ など	体験型選択 必修科目 2年春学期～	ペーパー科目 キャリアサポート実習 キャリア体験学習 キャリア体験学習(国際) 多文化教育Ⅰ・Ⅱ メディアリテラシー実習Ⅰ・Ⅱ 地域学習支援Ⅰ・Ⅱ(学部認定資格)
	<b>学校教育と地域学習(メソ)</b> 学校論Ⅰ～Ⅳ 生涯学習論Ⅰ・Ⅱ など	<b>集団・組織(メソ)</b> 戦略経営論Ⅰ・Ⅱ 経営組織論Ⅰ・Ⅱ 経営分析論Ⅰ・Ⅱ など	<b>文化マネジメント(メソ)</b> アート・マネジメント論 ミュージアム概論 など		
	<b>発達と学習(ミクロ)</b> キャリアカウンセリングⅠ～Ⅲ 生涯発達心理学Ⅰ・Ⅱ など	<b>個人・人間(ミクロ)</b> 産業・組織心理学Ⅰ・Ⅱ 人材育成論Ⅰ・Ⅱ リーダーシップ論 など	<b>自己・他者・関係(ミクロ)</b> アイデンティティ論 家族論 コミュニティ社会論Ⅰ・Ⅱ など	総合科目 2年春学期～	就業機会とキャリア 職業能力ベーシックスキルⅠ・Ⅱ
	<b>外書講読(2クラス)</b>	<b>外書講読(2クラス)</b>	<b>外書講読(2クラス)</b>		
	<b>発達・教育キャリア領域</b>	<b>ビジネスキャリア領域</b>	<b>ライフキャリア領域</b>		
<b>基幹科目</b> 1年～ ※20単位以上	キャリアデザイン学入門 (2単位 必修) キャリア研究調査法入門 (2単位 必修)、キャリア研究調査法 (2単位選択必修) :①質的調査 ②量的調査 入門系科目 (全24単位中、各自が選択した領域から6単位選択必修) 発達・教育キャリア入門A～D/ビジネスキャリア入門A～D/ライフキャリア入門A～D 共通基幹科目 キャリアモデル・ケーススタディ 労働法など				
<b>ILAC(アイラック科目)</b> ※36単位以上	基礎ゼミ(必修) 情報処理演習 必修外国語 等				



関連科目	◆教職・資格課程科目 (教職・図書館司書・博物館学芸員・社会教育主事)の一部 ◆日本語教育関係科目 ◆国際コミュニケーション語学 ◆経営学部主権科目 ◆国際文化学部主権科目 ◆人間環境学部主権科目
------	---

自由科目	他学部公開科目    ERP科目    ESOP科目    グローバル・オープン科目    インターン・ボランティア    短期語学研修
------	--

## 1 科目の構成

上記の「カリキュラムの全体図」に沿って、具体的にカリキュラムの内容について説明していきます。

キャリアデザイン学部の科目は、領域とグレードという二種類の軸に従って配置されています。まず、領域とは、(1)発達・教育キャリア領域、(2)ビジネスキャリア領域、および(3)ライフキャリア領域、という三領域です（前頁全体図の横軸）。

(1)発達・教育キャリア領域では、人間発達、学校教育および学習社会における基本的な概念や理論を理解すると同時に、多様な現場実習によって、臨床的・実践的な基礎能力とスキルの向上を目標としています。(2)ビジネスキャリア領域では、働くこと、すなわちワークキャリアについて理解を深め、自らの働き方だけでなく働く場のあり方について、自ら研究を深めていくことを目標とします。(3)ライフキャリア領域では、私たちの生活に密着する家族やコミュニティについて理解を深め、社会の「仕組み」を読み解く視点を育てることを目標としています。この他、三領域に含まれない科目群として「関連科目」があります。これはキャリアに関連した教職や資格等に結びついた科目や生涯学習に必要なスキル（技能）を養成する科目が配置されています。

続いて、グレードは、基礎から応用までの相対的な位置を示します（上記全体図の縦軸）。基礎から応用に向かって、①基幹科目、②展開科目および③演習科目があり、これらの科目とは別に④体験系科目があります。以下、各グレード・領域別に、履修上、留意すべき点について説明します。

## 2 基幹科目

基幹科目は、本学部における学習目標を実現するため、基礎的・基盤的知識の修得を目指します。

まず、「基礎ゼミ」「キャリア研究調査法入門」「キャリア研究調査法」および「キャリアデザイン学入門」の四科目は必修科目です。これらのうち、「基礎ゼミ」と「キャリア研究調査法」は、少人数のゼミ形式で行われ、大学における学習の基礎的スキルや、キャリア研究調査の方法論をさまざまな演習をまじえて丁寧に学ぶ場です。

入門系科目は、(1)発達・教育キャリア領域、(2)ビジネスキャリア領域、(3)ライフキャリア領域に応じて配置してあります。上述のとおり、上級学年に至ると、(1)～(3)のいずれかの領域を重点的に学びますが、その基盤となる知識を修得する科目です。したがって、入門系科目の履修は、上級学年時に、重点的に学びたい領域を想定して行ってください。

共通基幹科目は、(1)～(3)の領域において共通に必要とされるものです。

## 3 展開科目

展開科目では、上記基幹科目の知識の上に、各自、三領域のうちのいずれかに重点を置き、専門的な知識を修得していきます。以下では、各領域別に、科目構成の特徴を説明します。

### (1) 発達・教育キャリア領域

発達・教育領域は、(a)教育と社会、(b)学校教育と地域学習、(c)発達と学習に分けられます。(a)教育と社会はマクロ的な視点、(b)学校教育と地域学習はメゾ的な視点、(c)発達と学習はミクロ的な視点、に基づく科目を配置しています。

(a) 教育と社会には、「教育経済学」、「教育社会学Ⅰ・Ⅱ」、「学習の社会史A・B」などの科目があります。私たちは真空の世界に生きているわけではありません。社会とのかかわりの中で生きています。これらの科目では、教育や学習における歴史・制度・文化などの影響や諸外国との比較などを扱います。

(b) 学校教育と地域学習には、「学校論Ⅰ～Ⅳ」、「教育マネジメントⅠ・Ⅱ」などの科目があります。学校や地域、家族といった単位が対象です。個人の発達や教育を考えるうえで、学校や地域、家族に注目することは重要なテーマとなります。

(c) 発達と学習には、「教育心理学」、「キャリアカウンセリングⅠ～Ⅲ」などの科目があります。「発達」、「学習」、「パーソナリティ」といった事柄に関する知識やアプローチの方法について、科学的に理解していきます。

## (2) ビジネスキャリア領域

ビジネスキャリア領域の科目は、(a)産業社会、(b)集団・組織および(c)個人・人間に分けられます。(a)産業社会はマクロ的な視点、(b)集団・組織はメゾ的な視点、(c)個人・人間はミクロ的な視点、に基づく科目を配置しています。

(a) 産業社会には、「労働経済学」、「職業キャリア論」などの科目があります。社会全体、市場および産業といった単位が対象です。労働市場における需要と供給の関係をはじめ、ワークキャリアを取り巻く社会経済関係にマクロ的にアプローチします。

(b) 集団・組織には、「戦略経営論Ⅰ・Ⅱ」、「経営組織論Ⅰ・Ⅱ」、「経営分析論Ⅰ・Ⅱ」などの科目があります。ワークキャリアを形成する場、すなわち企業という単位が対象です。企業はどのような仕組みや論理に基づいて経営されているかなど、ワークキャリアを形成する場である企業の経営について多角的に理解します。

(c) 個人・人間には、「産業・組織心理学Ⅰ・Ⅱ」、「人材育成論Ⅰ・Ⅱ」、「リーダーシップ論」などの科目があります。個人あるいは人間といった単位が対象です。働く人の感情、考え、振る舞いや、人間関係に焦点をあてます。ワークキャリアを形成する個人あるいは人間という単位にミクロ的にアプローチします。

## (3) ライフキャリア領域

ライフキャリア領域の科目は、(a)多文化・グローバル社会、(b)文化マネジメントおよび(c)自己・他者・関係に分けられます。(a)多文化・グローバル社会はマクロ的な視点、(b)文化マネジメントはメゾ的な視点、(c)自己・他者・関係はミクロ的な視点、にそれぞれ基づく科目を配置しています。

(a) 多文化・グローバル社会には、「多文化社会論Ⅰ～Ⅲ」、「国際関係論Ⅰ・Ⅱ」、「国際地域研究Ⅰ・Ⅱ」などがあります。より広い範囲で、自己のキャリアと社会がつながりうることを知り、国際交流や文化比較なども視野に入れて学んでいきます。

(b) 文化マネジメントには、「アート・マネジメント論」、「ミュージアム概論」などの科目があります。文化やアートなどを通して、人びとや地域社会がいかにつながっていくのか、人びとの生活やまちづくりにおいて、文化活動の意味や位置づけはどういったものか、などをテーマとします。

(c) 自己・他者・関係には、「アイデンティティ論」、「家族論」、「コミュニティ社会論Ⅰ・Ⅱ」などの科目があります。自己が他者や社会とつながることについて、身近なコミュニティや家族の関係などを通して、キャリア形成や自己理解を視野に入れつつ学びます。

## 4 演習科目

1年次春学期には、本学部で学ぶための基礎的な能力（アカデミック・スキルの基礎）を修得するための少人数授業として「基礎ゼミ」を設置しています。この授業は、20名程度の人数で、各クラス共通した内容で行います。

1年次秋学期に「キャリア研究調査法入門」、2年次春学期に「キャリア研究調査法（質的調査）」、「キャリア研究調査法（量的調査）」を設置しています。これらは自らデータを収集して分析する能力を養うことを目的としており、2年次秋学期からの「キャリアデザイン学演習」への橋渡しをする必修科目です。「キャリア研究調査法（質的調査）」と「キャリア研究調査法（量的調査）」は、2年次春学期にいずれかを履修することが必須ですが、その後もう一方を履修することも可能であり、推奨します。

さらに、「キャリア研究調査実習」を、3領域ごとに開設しています。本科目は、具体的な調査の主題をあらかじめ設定し、上記の「キャリア研究調査法」で修得した方法を実際中使用し、自分で使えるレベルにまで調査能力を高めることを目的としています。自分の関心の強いテーマ、あるいは、「演習」のテーマに近いクラスを選択することにより調査能力のみならず、特定の専門分野への関心をも喚起するので、推奨します。

2年次秋学期から4年次秋学期までの「演習」は、学生が自らの専門性向上のために主体的に学び合う、少人数形式の授業です。担当教員により進め方は様々ですが、学生によるプレゼンテーションやディスカッションを中心として行われ、教員は助言や支援、コーディネーションなどの役割を担うのが主たる形式です。

1年次の「基礎ゼミ」とは異なり、授業内容は、各担当教員の専門分野に沿った、多様なものとなっています。学生が、自分の関心のある専門領域に関する理解を深め、研究を行うことを目的としています。担当教員により異なりますが、原則として、本学部での学びの集大成として、4年次には卒業研究として卒業論文の提出が求められ

ます。

「演習」は、(1)発達・教育キャリア、(2)ビジネスキャリア、(3)ライフキャリアの三領域に担当教員が配分され、学生自身が希望する担当教員1名を選んで応募する形をとっていますが、少人数形式という科目の特性上、応募者が多い場合には教員による選考により履修者が決定されます。

また、3～4年次の科目として、これまでの学びの集大成として、(1)発達・教育キャリア、(2)ビジネスキャリア、(3)ライフキャリアの三領域を横断してキャリアデザインを研究する「キャリアデザイン学総合演習」を配置しています。キャリアデザイン学総合演習の履修は必須ではありませんが、本学部で培った幅広い視野でキャリアデザインを研究する総合性の高い科目として、意欲ある学生の履修を期待しています。

演習 履修決定の手続きとスケジュール（予定）

履修決定は5月～7月にかけて行います。詳細なスケジュールは後日掲示でお知らせします。

## 5 体験型選択必修科目

卒業要件には、卒業所用単位数を満たすだけでなく、それらの中に「体験型選択必修科目」が4単位以上含まれていることが謳われています。「体験型選択必修科目」は、ほぼすべての科目で教室を離れて人やコミュニティと直接かかわる活動を行います。「事前指導」や「Ⅰ」を先に履修し単位を取得した後、「実習」や「Ⅱ」を履修するもので、春学期と夏学期、ペアで履修することが必要です。また、教室外での実習を伴うため、授業に真摯に取り組む態度が求められます。

「体験型選択必修科目」には合わせて六つのペア科目があるので、前掲の「体験型選択必修科目」一覧表で確認してください。以下では、体験型科目の三つについて紹介します。

### <キャリアサポート事前指導・キャリアサポート実習>

キャリアデザイン学部は自らのキャリアをデザインするとともに、人のキャリアデザインをサポートする能力を養成することを目指しています。そのため、このペア科目では、学内外でさまざまなサポート活動を行いながら、その活動を通じて学ぶという体験を中心にすえています。そのサポート活動を実際に行うのが「キャリアサポート実習」ですが、そのための意識や知識、スキルなどをしっかりと身に付けるために事前に行うのが「キャリアサポート事前指導」です。

「キャリアサポート事前指導」では、人の話を「聴く」ことからはじめ、他者との円滑なコミュニケーションの方法を学びます。ディスカッションの進行役（ファシリテーター）を経験したり、他者のキャリア形成をサポートするためのプログラムを実際に作成したりします。必要に応じて学期の途中で実習を行うことがあります。

「キャリアサポート事前指導」での学びがあった上で、「キャリアサポート実習」では、実際にさまざまな現場でサポート活動を行います。主に高校に出かけ、高校生たちとともにキャリア教育や進路相談をテーマにしたワークショップを行います。この活動体験の成果はレポートにまとめて提出し、指導教員やキャリアアドバイザーからコメントをもらうほか、成果報告会で発表し、受講生同士で互いにコメントするなどして振り返りを行います。

キャリアデザイン学部の専門科目には、活動しながら学ぶ授業が多く設けられています。それらに臨むためにも、ぜひこの科目を通じて、必要な力をつけてください。

### <キャリア体験事前指導・キャリア体験学習／キャリア体験事前指導（国際）・キャリア体験学習（国際）>

これら2つの体験学習ペア科目は、国内外の一般企業（多種多様な業種）、非営利団体（NPO）、自治体その他の公共機関や各種業界団体等のさまざまな職場において、一定期間に実際の業務を体験すること（インターンシップ）、あるいはそういった機関で活動する人との課題解決学習や協働活動等を通じて、多様な文化や価値観に触れ、仕事に対する感覚や理解を涵養し、自分自身のキャリアデザインの一助とすることを目的としています。

キャリア体験学習は、主に企業における就業体験をメインに行います。企業や団体の現場で実際に働く経験をすすめるインターンシップ型とグループで企業の課題解決に取り組むプロジェクト型の授業があります。インターンシップ型のAコース（実習先を学部で用意する）とBコース（実習先を履修生が自主開拓する）、プロジェクト型のCコース（中小製造業との産学連携活動として実習する）の3つのコースがあります。

キャリア体験学習（国際）では、ベトナム（ホーチミン）、台湾（台北）でのキャリア体験学習を実施します。訪問する国の実情に合わせて、インターンシップだけではなく、文化体験や企業訪問、現地の大学生との協働活動など、多様なかたちでキャリア体験学習を実施します。

実習が中心となるのはもちろんですが、実習先の概要や仕事の中身などについて各自で調べ、学習することも不可欠です。また実習の成果については、公開でプレゼンテーションを行ったり、報告書にまとめて公表したりします。それぞれのクラスの特徴をよく理解したうえで応募してください。

## 地域学習支援Ⅰ・Ⅱの履修と「地域学習支援士」の認定について

### （１）地域学習支援Ⅰ・Ⅱ

この科目は、現代の地域社会でニーズが高まっている地域学習支援の方法について学び、多様な職業分野で期待されている学習支援者としての専門性を習得することを目的としています。具体的には、地域づくり学習、ユースワーク、多文化理解、コミュニティ・メディア、地域文化創造、フィールドミュージアムなどの学習活動分野のプログラム編成、組織運営マネジメントなどについて理論面と実際面から学び、コーディネーターとして地域社会のネットワークの形成や地域活性化に寄与する力を形成することをめざします。地域学習支援Ⅱでは、それぞれの分野ごとに専門の教員が指導をおこないます。

地域学習支援のマネジメントやコーディネーターの専門性は、国・自治体、公共機関の職員はもとより、地場産業や観光・サービス関連産業の事業経営、一般企業の地域貢献、経済団体連合会や商工会議所などの地域振興事業、自立支援・地域づくり・文化・環境分野などのNPO市民活動、グローバルな交流にとりくむ国際機関・NGO活動などにおいて幅広く求められています。地域学習支援に関わる専門性を身につけて多様な職業分野への就業力を高めるとともに、NPOやボランティア活動などにも参加して、勤労者・市民として社会を担う実践的な知識や行動力を培うことを目的とします。

この科目は学部認定資格「地域学習支援士」資格を取得する場合には必修です。もちろん、資格取得に関係なく、体験型選択必修科目として履修することができます。

### （２）学部独自の認定資格「地域学習支援士」

別表に示すように、地域学習支援Ⅰ・Ⅱ合わせて4単位と選択必修科目8単位及び選択科目18単位の合計30単位を履修した学生には、4年次の卒業単位認定の時期に、所定の申請手続きを経て、学部から「地域学習支援士」資格取得の認定証が交付されます。この資格の取得を履歴書などに明記することができます。

本学部では教職・社会教育専門職などの国家資格を取得することができますが、地域学習支援士はこれらに加え、より多様な職業分野における新たな現代的、社会的ニーズに対して、「学びを通じて人を支援する」専門性を身につけていることを学部として認定するものです。

別表 地域学習支援士資格認定科目

<p>共通必修科目 (4単位)</p>	<p>地域学習支援 I 地域学習支援 II</p>
<p>選択必修科目 (8単位)</p>	<p>生涯学習論Ⅲ・Ⅳ (成人教育論Ⅰ・Ⅱ) 学校論Ⅲ (キャリア教育)・Ⅳ (キャリア教育) 多文化教育Ⅰ・Ⅱ キャリアカウンセリングⅠ・Ⅱ メディア教育論Ⅰ・Ⅱ アート・マネジメント論 文化経営論 メディアリテラシー実習Ⅰ・Ⅱ ミュージアム概論 ミュージアム経営論</p>
<p>選択科目 (18単位)</p>	<p>生涯学習論Ⅰ・Ⅱ NPO論 ミュージアム教育論 メディア文化論 多文化社会論Ⅲ 情報メディアの活用 ファシリテーション論 図書館情報資源概論・図書館情報資源特論 産業文化論 文化マーケティング論 家族論 若者の自立支援 世代間交流論 職業選択論Ⅰ・Ⅱ アジア社会論Ⅰ・Ⅱ アントレプレナーシップ論Ⅰ・Ⅱ シティズンシップ論</p>

カリキュラム  
2017年度以降入学者用

## 6 自由科目

「他学部公開科目」「ESOP科目」「ERP科目」「グローバル・オープン科目」「国際インターン・国際ボランティア」「短期語学研修」が該当します。卒業までに合計16単位を上限として履修可能です。ただし受講資格と単位認定は以下のとおりそれぞれ異なりますので、履修の際は十分注意してください。また、自由科目として修得した単位は Semester・年間の履修登録上限単位数の対象となります(但し、インターン・ボランティア、短期語学研修は対象外)。

### (1) 他学部公開科目

受講資格は2・3・4年次生に限られます。詳細は、Webシラバス(講義概要)を参照してください。

### (2) ESOP科目

全学年受講が可能です。本人申請により単位認定を行います。海外から受け入れた交換留学生用の、日本という国に関わるテーマをとりあげた英語の講義・ゼミです。履修要綱は学部窓口にて配布します。開講科目など詳しくはグローバル教育センター事務部国際交流課(E-mail: ic@hosei.ac.jp、電話番号: 03-3264-9402)にお問い合わせください。

### (3) ERP科目

全学年受講が可能です。本人申請により単位認定を行います。英語による少人数(10名~20名)・双方向授業を授業形態として実施されている、英語4技能(listening、speaking、reading、writing)の養成とその統合を目的とした授業です。卒業所要単位として単位修得することを希望する場合、履修登録時に指定すると自由科目として履修できます。履修要綱はグローバル教育センターのホームページで確認してください。開講科目等、詳しくはグローバル教育センター事務部グローバルラーニング課(E-mail: global@hosei.ac.jp、電話番号: 03-3264-4088)にお問い合わせください。

### (4) グローバル・オープン科目

全学年受講できます。法政大学が「世界のどこでも生き抜く力を身につけたグローバル社会のリーダー」を育成するために全学で開講されている学部横断型の科目群です。詳細は、グローバル教育センターのホームページで確認してください。

### (5) インターン・ボランティア

全学年受講が可能です。本人申請により単位認定を行います。

グローバル教育センターが主催している「国際インターンシップ」「国際ボランティア」プログラムです。実施されるプログラムは実施期間により異なります。詳細はグローバル教育センターのホームページで確認してください。

### (6) 短期語学研修

全学年受講が可能です。本人申請により単位認定を行います。

グローバル教育センターが主催している集中語学研修です。実施されるプログラムは実施期間により異なります。詳細はグローバル教育センターのホームページで確認してください。

# キャリアアドバイザーより新入生のみなさんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。キャリアデザイン学部へようこそ！  
私たちキャリアアドバイザーは、キャリアデザイン学部の学生の皆さんの学生生活がより充実したものになるよう、さまざまな面からサポートしていきます。

## 内容と使い方

このページは、新入生の皆さんが疑問に感じることを一つでも多く解決できるよう作成したものです。  
作成にあたり、キャリアデザイン学部の先輩たちが入学時に感じた不安や疑問、2年生になってあらためて振り返ったときに「1年生の時にもっとこうしていれば良かった」と思った率直なエピソードや、「知っていれば便利だった」といった情報、今までキャリアアドバイザーが受けた質問や相談から参考になる事柄をできるだけ多く掲載するようにしました。  
目次には、ひとつでも多く皆さんの疑問を解決できるよう、具体的な項目をあげました。これからの学生生活に役立ててください。

## 目次

- 1. キャリアアドバイザー活用法…………… 学部- (40)
  - (1) キャリアアドバイザーとは？
  - (2) キャリアアドバイザーに相談できること
  - (3) キャリアアドバイザーに相談できる場所
  - (4) 相談の予約
- 2. 大学生活スタート 大学で学ぶ科目を決めよう！…………… 学部- (42)
  - Step 1 履修科目をチェックする
  - Step 2 初回の授業に出席する
  - Step 3 時間割を見直す
  - Step 4 Web履修登録をする
- 3. 資格にチャレンジする！…………… 学部- (44)
  - (1) 大学で資格を取るには
  - (2) キャリアアップ奨励金を活用しよう
  - (3) エクステンション・カレッジを利用しよう

## 1. キャリアアドバイザー活用法

### (1) キャリアアドバイザーとは？

キャリアデザイン学部には、キャリアアドバイザーが常勤しています。

キャリアアドバイザーは、皆さんの学生生活やキャリア支援のために、相談業務だけでなく、授業のサポートやイベントの企画や情報の発信などを行っています。

#### ★授業サポート

キャリアサポート事前指導・実習

キャリア体験事前指導・学習（A・Bコース, Cコース, 国際） など

#### ★イベントおよび行事

新入生対象の履修相談会 就職活動準備のためのワークショップ

体験型学習及びゼミ履修説明会 など

### (2) キャリアアドバイザーに相談できること

学習や進路、大学生活に関する相談ができます。「こんなこと聞いてもいいかな?」「どうしたらいいんだろう」と思ったとき、ぜひ気軽に声をかけてください。

<相談例>

#### ① 履修、学習に関すること

- ・ 時間割をどう組んでいこうか迷っている
- ・ ゼミや領域をどう選んだら良いかわからない
- ・ 勉強の進め方などで心配事がある

#### ② 進路に関すること

- ・ この学部で何を身につけたいか考えたい
- ・ 将来の職業について考えたい
- ・ 将来就きたい職業があるが、今、具体的にどんなことをしたら良いかわからない
- ・ 資格を取りたいので、相談にのってほしい

#### ③ その他大学生活に関すること

- ・ 何かを始めようと思うが、具体的に何をしたら良いかわからない
- ・ 挑戦したいことがあるが、どのような準備が必要なのか知りたい
- ・ 留学制度やどのような準備が必要か知りたい
- ・ 人間関係について悩んでいる

(3) キャリアアドバイザーに相談できる場所

☆キャリアアドバイザールーム（富士見坂校舎3階）

キャリアアドバイザーが常駐しており、ここで相談することができます。



☆キャリア相談ルーム（ボアソナード・タワー12階）

プライバシーが保たれた空間で、ゆったりと落ち着いて話ができます。



※キャリアアドバイザールームの開室時間は、原則、平日10:00-18:00です。変更になる場合もありますので、詳しくは学部掲示板をご覧ください。

(4) 相談の予約

事前に予約をお願いします。部屋は、キャリアアドバイザールーム、キャリア相談ルームから選ぶことができます。お気軽に声をかけてご相談ください。

<予約方法>

予約は、下記のメールアドレスで受け付けています。予約の際は、「氏名」「学生証番号」「複数の相談希望日時」「連絡のとれる電話番号」「簡単な相談内容」をご連絡ください。

Eメール [cdadv@hosei.ac.jp](mailto:cdadv@hosei.ac.jp)

相談受付時間 10:15~17:00



Check>> Web掲示板は毎日チェック!

履修登録に関する情報、選抜のある授業の履修方法、課題の提出、休講の連絡や教室の変更など、大学生活に必要な情報は、すべてWeb掲示板に掲載されます。「うっかり見逃して、課題の提出に間に合わなかった!」ということにならないよう、毎日必ずWeb掲示板をチェックする習慣を身につけましょう! また、履修の手引きを読んでも分からない疑問点は、うやむやにしないで内容に応じてキャリアアドバイザーに相談するか、学部窓口で問合わせましょう。

- キャリアデザイン学部からの連絡
  - 専門科目に関する情報・伝達
  - キャリアアドバイザーからのお知らせなど
 } → 【キャリアデザイン学部掲示板】
- I L A C 科目・体育に関する情報・伝達 → 【市ヶ谷リベラルアーツセンター（I L A C）掲示板】
- 教職・資格に関する情報・伝達 → 【教職・資格掲示板】

## 2. 大学生活スタート 大学で学ぶ科目を決めよう!

大学の授業は自分で履修する科目を選び、指定された期間（後日Hoppiiで発表）に、“Web履修登録”をしなくてはなりません。春学期履修登録時に「春学期科目+秋学期科目」をセットでWeb履修登録しますので注意してください。なお、履修登録の手順は、「キャリアデザイン学部履修の手引き」に、履修科目の内容は「Webシラバス（講義概要）」に詳しく書かれていますので、必ず読んでください。ここでは、履修登録までの流れを簡単に説明します。

### 履修登録までの手順 \*シラバスをよく読もう\*

Step 1 履修科目をチェックする Step 2 初回の授業に出席する Step 3 時間割を見直す Step 4 Web履修登録をする

#### Step 1 履修科目をチェックする

(1) まず、必修科目を確認して時間割を組んでみよう。

キャリアデザイン学部では、卒業するために必ず修得しなくてはならない「必修科目」と、一定の範囲の中から選択し必ず何単位か習得しなくてはならない「選択必修科目」、自由に選択で履修できる「選択科目」があります。時間割を組む際には、まず「必修科目」「選択必修科目」をチェックしましょう。なお、以下はあくまでも一例です。実際の時間割は毎年変更があるので、各自で必ず確認してください。

( ) 内は単位数 丸で囲んだ数字はILAC科目の群

	月	火	水	木	金	土
1限	英語1-I (1)④		ドイツ語1-I (1)④			
2限		英語2-I (1)④			スポーツ総合演習(2)⑤	
3限	キャリアデザイン学入門(2)		基礎ゼミ(2)⑩			
4限					ドイツ語2-I (1)④	
5限						
6限						

(2) 次に、単位の上限数は考えず、学びたい科目で時間割を作ってみよう。

( ) 内は単位数 丸で囲んだ数字はILAC科目の群

	月	火	水	木	金	土
1限	英語1-I (1)④		ドイツ語1-I (1)④	ビジネスキャリア入門C(2)	ビジネスキャリア入門B(2)	
2限		英語2-I (1)④		科学史A (2)③	スポーツ総合演習(2)⑤	
3限	キャリアデザイン学入門(2)	ライフキャリア入門C(2)	基礎ゼミ(2)⑩			
4限	ライフキャリア入門A (2)	発達・教育キャリア入門A(2)	発達・教育キャリア入門C(2)	情報処理演習(2)⑩	ドイツ語2-I (1)④	
5限			心理学 I (2)②			
6限			入門生物学A (2)③		文化人類学(2)②	

単位数計

5単位

5単位

9単位

6単位

7単位

< ILAC科目 >

①; 0群、①; 1群、②; 2群

③; 3群、④; 4群、⑤; 5群

ILAC科目は0群から5群まであり、卒業までに履修する必要単位数が決まっています。専門科目と同様に、計画的に履修していきましょう。

合計 32単位

Check>> セメスター・年間の登録には上限がある!

上限を超えて履修することはできません。

春学期に32単位は  
取れない!!

## Step 2 初回の授業に出席する

大学では、初回の授業で授業の内容や進め方や評価の方法などが説明されます。初回の授業は何科目出席しても構いません。Step1 (2) で作った時間割表をもとに、履修したい科目・興味のある科目の初回授業はできるだけすべて出席するようにしましょう。

### ◆先輩からのアドバイス◆

『国際コミュニケーション語学は、しっかり学びたい人にオススメです!』

『履修するにあたり、抽選のある科目があります。希望通りの時間に当たるとは限りませんので注意しましょう。』

#### Point >> 初回の授業でチェックすべき項目

##### (1) 自分が学びたいことが学べるか?

講義概要(シラバス)を読んだだけでは、授業の様子はつかめません。初回の授業で、自分の学びたいことが学べる授業かどうかをしっかりとチェックしましょう。

◆先輩の体験談◆ 講義概要(シラバス)を読んで興味を持ったので、最初の授業に出席したのですが、私が想像していた内容と違いました。結局、履修登録では、他の科目を履修することにしました。

##### (2) 半年間継続して履修できるか?

履修登録した科目は、半年間変更することができません。時間割に合わせて、半年間生活スタイルを計画することも大切です。

◆先輩の体験談◆ 火曜日は1時限と6時限を履修しました。空き時間ができたので、大学の近くの店でアルバイトをして、時間を有効に使うことができました。

##### (3) 授業の進め方などもポイント!?

キャリアデザイン学部の授業は講義形式のものから、グループワーク中心のもの、フィールドワークのあるものなど多様であり、授業の進め方はシラバスに記載されています。「苦手だった科目が、先生の話が面白かったので好きになった」そんな経験を持つ方も少なくないでしょう。実際に授業に出て、先生の授業の進め方を確認したうえで、履修するかどうか決めるのもおすすめです。

## Step 3 時間割を見直す

抽選や選考で決まった科目や、初回の授業に出席した様子などから、実際に履修する時間割を考えてみましょう。

時間割を決めるには、これから大学でどのような学びをしたいのかをしっかりと考える必要があります。また、サークルやボランティア活動、資格取得や趣味、仕事など、生活の予定と両立させていく努力も重要です。時間割づくりに迷っている人だけでなく、これで完璧!と思っている人も見直してみましょう。

( ) 内は単位数 丸で囲んだ数字はILAC科目の群

	月	火	水	木	金	土
1限	英語1-I (1)④		ドイツ語1-I (1)④	ビジネスキャリア入門C(2)	ビジネスキャリア入門B(2)	
2限		英語2-I (1)④			スポーツ総合演習(2)⑤	
3限	キャリアデザイン学入門(2)		基礎ゼミ(2)⑩			
4限		発達・教育キャリア入門A(2)	発達・教育キャリア入門C(2)	情報処理演習(2)⑩	ドイツ語2-I (1)④	
5限			心理学I (2)②			
6限					文化人類学(2)②	

単位数計

3単位

3単位

7単位

4単位

7単位

合計 24単位

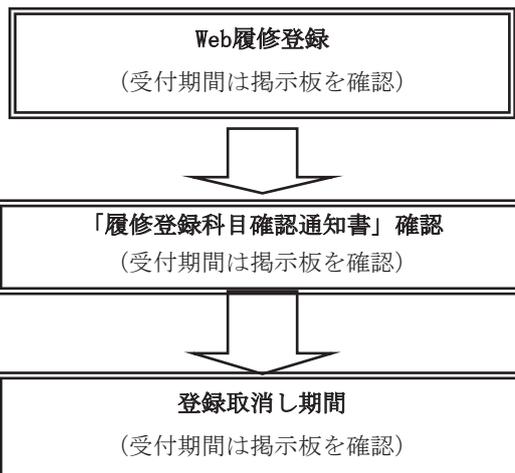
春学期の履修上限単位(卒業所要単位のみ)は30単位ですが、授業以外の活動も考慮して24単位に調整しました。

## Step 4 Web履修登録をする

### Check> 登録後の確認も忘れずに！

履修登録を終えたら、「履修登録科目確認通知書」を印刷しましょう。履修登録が終わったからと安心せず、必ずこの通知書で正しく登録できているか確認しましょう。

履修登録のエラー訂正を怠ったり、間違った科目を登録したままにしたために、「進級できない！」というケースもあります。通知書は決められた期間に受け取り、内容を確認することが必要です。詳細については、「履修の手引き」・学部掲示板で確認してください。



### 3. 資格にチャレンジする！

#### (1) 大学で資格(教職・図書館司書・社会教育主事・学芸員)を取るには

大学では、一定の科目を履修することで、「教員免許」、「図書館司書」、「社会教育主事」、「博物館学芸員」などの資格を取得することができます。

これらの資格を取得するには、学部の授業以外に、指定された科目を履修しなければなりません。興味のある方は、「教職課程履修要綱」「資格関係科目履修要綱」を教職資格課程窓口で入手し、4月上旬に行われる各ガイドンスに必ず出席してください。

### Check> 教職・資格課程の科目について

教職・資格課程では、1年生から履修できる科目はそれほど多くありません。

とりたい資格があった場合は、どの学年でどれだけの科目が履修できるのか、4年間を通して考えてみましょう。教職課程を履修する場合は、教育実習が就職活動時期と重なることが多いようです。「とりあえず履修」という気持ちではなく、何のために教職・資格課程を履修するのかを考え、科目登録しましょう。

■教職課程センター(富士見坂校舎3階)教員免許状の取得から教員採用試験に合格するまでをサポートします。

#### (2) キャリアアップ奨励金を活用しよう

キャリアデザイン学部には、資格取得を目指す学生を支援する制度があります。制度の概要や詳細については「履修の手引き」・学部掲示板で確認してください。

#### (3) エクステンション・カレッジを利用しよう(外濠校舎2階キャリアセンター内)

エクステンション・カレッジでは資格・語学など提携先の講座を、割引価格で案内しています。詳細は、法政大学エクステンション・カレッジのホームページ(HOME → キャリア → エクステンション・カレッジ)をご覧ください。

## (補足) キャリアデザイン学部生 お役立ち情報

### (1) 法政大学の施設を使いこなそう

大学の情報を得るには法政ポータルサイト (Hoppii) 内の学部web掲示板をチェック！  
休講情報や各種届出方法、イベント情報など、大学生活での有力な情報が得られます。



法政ポータルサイト (Hoppii)

Hoppii URL : <https://hoppii.hosei.ac.jp>

学内施設については、大学ホームページに詳しい案内があります。利用方法を確認し積極的に活用しましょう。

- 各種相談窓口 (学部窓口、学生センター、キャリアセンター等)   ■図書館   ■AVライブラリー
- 情報カフェテリア   ■スタディールーム など

**Check>> 山手線沿線の大学の図書館も利用できる！**

山手線沿線の私立大学が協力して、コンソーシアムを形成し、相互に所蔵図書を検索・貸出できるシステムを持っています。詳しくは、法政大学図書館ホームページで確認しましょう。

### (2) キャリアデザイン学部の施設を活用しよう

■授業やゼミに必要な機材の貸出し (キャリア情報ルーム)

大内山校舎3階のキャリアデザイン学部の情報ルームでは、ノートパソコン・ICレコーダー・デジタルカメラ・ビデオカメラなど様々な機器を借りることができます。

■授業やゼミに必要な資料作成 (CAL S)

ボアソナード・タワー12階のCAL Sは、少人数授業の共同発表資料や、ゼミ報告集などを作成するときに使えます。使用するには事前申込みが必要です (個人やサークルでは使えません)。

■ゼミ合宿で (株) エイチ・ユーが「ゼミ合宿の宿」として提携・紹介する宿泊施設を利用した場合に宿泊料補助を行っていますので、ぜひご利用ください。詳細は、以下の大学HPにて掲載しています。

(HOME > キャンパスライフ > 学生生活サポート > ゼミでの契約宿舎利用における宿泊料補助)

<http://www.hosei.ac.jp/campuslife/support/keiyaku/index.html>

### (3) 各種相談窓口：

詳細は大学ホームページ (HOME→キャンパスライフ→健康管理・相談窓口) を確認してください。

■心の専門家に相談したい (市ヶ谷学生相談室)

電話：03-3264-9493

富士見坂校舎4階にある学生相談室では、大学生活におけるさまざまな悩みを、心理カウンセラーなどの専門スタッフに相談することができます。

■ハラスメントに悩んでいる (ハラスメント相談窓口)

電話：03-3264-4409

セクシャル・ハラスメント「相手の意に反して行われる性的言動」の被害や、「優位な立場の者がその権力を利用した不当な行為」によって、教育、研究、就学上の不利益などを被るといったアカデミック・ハラスメントの被害などにあった場合、ハラスメント相談室がサポートしてくれます。被害にあったら一人で悩まず、相談してみましょう。

■体調が悪い… (市ヶ谷診療所)

電話：03-3264-9503

ボアソナード・タワー2階には、ちょっと具合が悪くなったときに診てもらえる診療所があります。いざというときに備えて、覚えておきましょう。受診時には、学生証と保険証の提示が必要です。

■就職などの将来の相談 (キャリアセンター)

外濠校舎2階のキャリアセンターは就職活動中の3、4年生だけではなく、1年生から利用できます。1年生から参加できるプログラムもあります。

■留学のことを知りたい (グローバル教育センター)

大内山校舎2階のグローバル教育センターは、海外留学に関する各種手続きを行っています。

■ボランティアについて知りたい (ボランティアセンター)

外濠校舎1階のボランティアセンターは、ボランティアに関する情報を得られることはもちろん、ボランティア関係講座やスキルアップ講座を開催しています。

■勉強の進め方がわからない (学習ステーション)

富士見坂校舎2階の学習ステーションには、学生アシスタントの先輩が常駐しています。

#### (4) 知っておくと便利な情報

##### ■コピーをとる

コピー機は学内の所定の場所に置いてあります。コイン式とカード式があります。コピーカードは、図書館ロビーにある自動販売機で購入でき、コイン式を利用するよりも割安です。

##### ■食堂（フォレストガーデン、つどひ、富士見坂食堂）

フォレストガーデンはボアソナード・タワー地下1階、つどひは富士見ゲート3階、富士見坂食堂は富士見坂校舎地下1階にあります。その他、外濠校舎1階のセブンイレブンや富士見ゲート1階のOrange café、同じく地下1階の生協売店でお弁当やおにぎり、パンなどが買えます。

##### ■生協など（書籍、文具、プレイガイドなど）

富士見ゲート地下1階に、法政大学生協（書籍・文具・旅行や運転免許等のプレイガイド）、書店、写真店があります。また外濠校舎6階にも旅行代理店があり、ゼミ・サークル合宿などの相談ができます。

#### Miniコラム あなたも狙われている！？

「大学入学後、全く知らない人から親しげに電話がかかってくる気持が悪かった」、「街頭でキャンペーン中で格安だと言われたので、ローンで英会話教材を契約したところ、後で高額な代金を請求された」、「大学の近くでアンケートに協力したら、その後、勧誘の電話が何度もかかってきた」など・・・特に4月は、大学新生を狙った悪質商法の勧誘活動が、あちこちで行われています。悪質商法で嫌な思いをしないよう、くれぐれも注意してください。

##### 【こんな言葉で近づいてくる相手には注意！】

1. 「当社が行う簡単なテストに合格すれば公認会計士を取得できます」などと言って契約させる。
2. 「すいませーん。アンケートにご協力いただけませんか？」などと声をかけ怪しげな展示会に連れて行き、物を購入させる。
3. 「最近お肌の調子はどうですか？一度当社に来て頂いたらあなたにピッタリの化粧品を作ってあげられますよ」と声をかけ、高額な化粧品を購入させる。
4. 「ねえねえ、ここらへんでカワイイお店知らない？」、「音楽とか映像とか興味ない？」、「上京してきたばかりで、友達欲しいから連絡先教えて」などと、親しげに声をかけ、友達になるふりをし、高額なセミナー（自己啓発セミナーなど）への参加を迫る。
5. 「当社の紹介するベンチャー企業へ融資すれば、確実に年15%の高配当を約束します。もし、融資先が倒産した場合でも当社が元本を肩代わりして保証しますのでご安心下さい」と説明し融資させる。数ヶ月後に利息が支払われなくなり、元本も戻らず。

##### 【悪質商法からの防衛策】

1. 出所のはっきりしないアンケートには、名前や電話番号、メールアドレスを書かない。
2. 初めて参加するコンパなどで、気軽に名前や電話番号、メールアドレスを教えない（実際にコンパで書いた名前や電話番号がもとで、悪質商法にしつこく勧誘された先輩もいた）。
3. 電話や路上で商品購入を勧められても、すぐ契約せず、必ず信頼できる人に相談してから決める。
4. 街中で見ず知らずの人に誘われても、応じない。気軽に電話番号やメールアドレスを教えない。
5. もし商品購入の契約をしてしまった場合には、すぐに両親や信頼できる人、東京都消費生活総合センターの相談窓口などに相談する。

##### 【カルト団体による勧誘行為】

カルト団体による法大生に対する勧誘活動が、大学の内外で行われているという情報が学生センターに寄せられています。

不審な勧誘活動にはくれぐれも注意し、個人情報や簡単に教えることのないように注意してください。

#### Check>> 民間業者のパフレットについてくれぐれもお願い！！

キャリアセンターやキャリア情報ルームに置いてある、資格取得やインターンシップ、就職支援に関する民間業者のパフレットは、参考資料として置いてあるものです。参加・申し込みの際には、十分に検討の上、よく判断し自己責任の範囲で行ってください。